

日本ソフトボール協会の歩み

財団法人 日本ソフトボール協会の歩み（年表）

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1921	大正10年	●5月、欧米留学より帰国した東京高等師範学校教授大谷武一が我が国に初めて紹介する。当時はインドアベースボールとかプレイグラウンドボールとか呼ばれた			オリンピック憲章公布 日英同盟廃棄
1926	大正15年	●文部省制定の学校体操教授要目の中に入る（プレイグラウンドボール）			
1933	昭和8年			●第1回全米選手権大会開催 ソフトボールの大規模大会としての初の試み	
1945	昭和20年	●戦後日本に駐留した米軍の将兵が各地でソフトボールを行う ●日本軟式野球連盟の中にソフトボールが併置される			8.15 太平洋戦争終結
1946	昭和21年	●大阪・藤井寺球場で1組10人で行う講習会が行われる ●大阪府下の12校の女子チームによって日本で初の大会が行われる ●引きつづき、東京、横浜、名古屋、神戸、広島、福岡などで女子校の大会が行われる			11.3 日本国憲法公布
1947	昭和22年	●第2回国体（金沢市）で非公式オープンゲームとして大阪の4チームと石川県の4チームの女子の対戦が行われる			5.3 日本国憲法施行
1948	昭和23年	●第3回福岡国体(博多)にオープンゲームとして参加			
1949	昭和24年1 3.31	●日本軟式野球連盟評議員会でソフトボール部を分離 ●日本ソフトボール協会創立			

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1949	昭和24年8	●第1回全日本高等学校女子選手権大会（西宮球場） ●第1回一般女子選手権大会（西宮球場） ●日本体育協会加盟			10.1 中華人民共和国成立
1950	昭和25年10	●第5回国体より正式種目となる			6.25 朝鮮戦争
1951	昭和26年		10.	●国際ソフトボール連盟（ISF）設立。日本加盟	9.8 日米安保条約調印
1952	昭和27年	●高校女子、一般女子の開催地分離			7.19 第15回ヘルシンキ五輪
1953	昭和28年				12.24 奄美大島復帰
1954	昭和29年8	●高校女子の大会、各都道府県を予選区として47チームの出場校で行うことになる			5.1 自衛隊発足
1955	昭和30年 8.3～5 8.7～8	●第1回総合大会（大阪・藤井寺球場） ●第1回全日本一般男子選手権（広島市）			
1956	昭和31年				11.22 第16回メルボルン五輪 10.19 日ソ国交回復 12.18 日本国連加盟
1957	昭和32年10	●第12回国体より一般男子正式種目となる			
1958	昭和33年				8.19 中国オリンピック委員会IOCとの関係を断絶
1959	昭和34年	●第1回審判中央研修会（東京・千駄ヶ谷）		●世界選手権大会の招待を受けたが不参加	4.10 皇太子ご成婚
1960	昭和35年				8.25 第17回ローマ五輪
1961	昭和36年6	●第1回実業団女子大会（大阪）			5.1 キューバ革命
1962	昭和37年		8.15～	●世界女子選手権大会（米国・ストラットフォード） 日本チーム：大阪高島屋 成績：第5位（2勝2敗）	8. 第4回アジア競技大会（インドネシア）で台湾とイスラエルの参加拒否問題が生じ、IOCはインドネシアNOCを資格停止処分に

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1963	昭和38年 6.9	●役員任期が従来の1年より2年となる ●専門委員会設置 ●国際ルール採用・ルール全面改訂 ●初の国際審判員試験(合格者7名)			5.4 狭山事件 11.22 ケネディ米大統領暗殺
1964	昭和39年7	●第1回実業団男子大会(静岡) ●審判員登録制度始まる			6.27 新潟地震のため国体夏期大会中止 10.10 第18回東京五輪
1965	昭和40年	●チーム登録(個人登録)実施	2.9～ 10.1～ 11	●第1回世界女子選手権大会(オーストラリア・メルボルン) 日本チーム:大阪高島屋 成績:第3位(5勝5敗) ●岩野次郎、国際連盟(ISF)副会長就任 ●ISFより米国の監督・選手が派遣され、国内で初めてのクリニック開催 ●アジアソフトボール連盟(ASF)設立、日本より第1副会長に栗本義彦、代表役員に岩野次郎・尾崎義敬、審判長に宍倉博就任	3.7 ベトナム戦争始まる 11.10 中国文化大革命始まる
1966	昭和41年 8.17 11.3 9.11	●第1回高等学校男子選手権大会(大阪) ●第1回大学男子・女子選手権大会(東京) ●沖縄ソフトボール協会加盟承認	10.23～ 10 12.16	●第1回世界男子選手権大会(メキシコ・メキシコシティ) 日本チーム:日本製鋼 広島製作所 成績:第6位(3勝7敗) ●ISF総会(メキシコ・メキシコシティ) 日本代表:四角誠一 岩野次郎 ’70年世界女子選手権日本開催決定 ●アジア会議(バンコク) 日本代表:吉田清	10.25 国連、中国加盟否決
1967	昭和42年1	●沖縄ソフトボールの指導のため役員派遣	2.1～	●第1回アジア女子選手権大会(フィリピン・マニラ)	

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1967	昭和42年 4. 6 11. 5	●第2回世界女子選手権準備委員会発足 ●第2回世界女子選手権組織委員会発足	2. 9	日本チーム：京都明德クラブ ●アジア会議（マニラ） 日本代表：宍倉 博 小池晶之	
1968	昭和43年3. 6 4. 16 10. 2	●日本体育協会理事会に於て、第2回世界女子選手権日本開催承認 ●日本女子リーグ発足 ●日本ソフトボール協会創立20周年記念表彰	2. 3～ 9. 21～	●第1回アジア男子選手権大会（フィリピン・マニラ） 日本チーム：国士舘大学 成績：5勝3敗 ●アジア会議（マニラ） 日本代表：宍倉 博 牧野 巽 石黒寅次 ●第2回世界男子選手権大会（米国・オクラホマシティ） 日本チーム：埼玉県庁 成績：1勝8敗 ●ISF総会（オクラホマシティ） 日本代表：岩野次郎 尾崎義敬	6. 12 小笠原諸島復帰 8. 20 ソ連、チェコ侵攻 10. 13 第19回メキシコ五輪 12. 10 3億円事件
1969	昭和44年		10. 23～	●第2回アジア女子選手権大会（台湾・台北） 日本チーム：倉紡安城 成績：優勝（5勝1敗） ●アジア会議（台北） 日本代表：向山文人 宍倉 博	4. 28 ドゴール辞任 7. 21 アポロ11号月面着陸
1970	昭和45年 8. 22～30	●第2回世界女子選手権大会（日本・大阪） 日本チーム：ナショナルチーム 成績：優勝 参加国：9か国 オーストラリア、カナダ、メキシコ、ニュージーランド、フィリピン、台湾、米国、ザンビア、日本			3. 14 万国博覧会大阪開催 6. 23 日米安保条約自動延長
1971	昭和46年1. 4.	●アマチュア規定改訂 ●向山文人専務理事（理事長）就任			1. 26 ソ連の金星7号、金星軟着陸成功

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1971	昭和46年	<ul style="list-style-type: none"> ●金属バット検定始める ●第1種審判員強化研修会開催(東・中・西地区) ●カウアイチーム(ハワイ)来日 ●ミダスマフラーチーム(ハワイ)来日 	12.3～	<ul style="list-style-type: none"> ●ISF総会(ホノルル) 日本代表：向山文人 木庭修一 	10.25 中国国連加盟台湾脱退
1972	昭和47年4.26 5.10 6. 7. 11.	<ul style="list-style-type: none"> ●財団法人日本ソフトボール協会設立許可 ●財団法人日本ソフトボール協会登記 ●日本女子Bリーグ発足(7チーム) ●日本男子中部リーグ発足 ●第1回全国総合男女選手権大会(伊那市) 	3.1～ 5.13～ 12.8～	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回世男男子選手権大会(フィリピン・マニラ) 日本チーム：丸善石油 成績：第5位(5勝4敗) ●アジア会議(マニラ) 日本代表：向山文人 ●第4回大学女子世界大会(米国・オマハ) 日本チーム：3大学選抜チーム 成績：第2位(5勝2敗) ●国際合同ルール委員会 日本代表：御喜正 木庭修一 	2.3 第11回札幌冬季五輪 5.15 沖縄返還 8.26 第20回ミュンヘン五輪 12.20 日本体協が「中華体育総会が中国を代表する唯一のスポーツ団体」という結論を出す
1973	昭和48年3.28	<ul style="list-style-type: none"> ●国際審判員試験 ●日本女子Bリーグを日本実業団女子リーグと改名 ●若潮国体を天皇・皇后両陛下ご観戦 	6.15～	<ul style="list-style-type: none"> ●ISF総会(カナダ・モントリオール) 日本代表：向山文人 木庭修一 	オイルショック 10.6 第4次中東戦争
1974	昭和49年3.3 10.19～	<ul style="list-style-type: none"> ●法人化して、初の役員改選 初代四角誠一会長に代わり、松前重義会長、初代岩野次郎、西村直己両副会長に代わり、弘世徳太郎、藤波孝生両副会長就任 ●アジア選手権運営会議(東京・晴海) 参加国：日本、フィリピン、台湾、ホンコン、タイ、インドネシア 	3.13～ 3.26	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回アジア女子選手権大会(フィリピン・マニラ) 日本チーム：大和紡福井増強チーム 成績：優勝(8勝0敗) ●第2回アジア男子選手権大会(フィリピン) 日本チーム：レッドスパローズ増強チーム 成績：第2位(5勝3敗) ●アジア会議 日本代表：下奥信也 宍倉博 	2.26 小野田寛郎元小尉、フィリピン・ルバング島より下山

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1974	昭和49年		8.8～	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回世界女子選手権大会（米国・ストラットフォード） 日本チーム：トヨタ自工増強チーム 成績：第2位 	8.8 ニクソン辞任 108 佐藤栄作前首相、ノーベル平和賞受賞決定 11.26 田中角栄辞任 12.9 三木武夫内閣成立
1975	昭和50年		5.29～ 7.	<ul style="list-style-type: none"> ●I S F総会（サンフランシスコ） 日本代表：向山文人 木庭修一 ●群馬教員チーム、カナダ遠征 ●塩原ヤンガーズ、グアム遠征 ●日女体大チーム、中国遠征 ●御喜 正、中国視察 	4.5 蒋介石死去 9.30 ベトナム戦争終結
1976	昭和51年 4.1 5.31 9.	<ul style="list-style-type: none"> ●全国3大会テレビ放映 ●延長戦（14回）で勝敗が決しない場合、引き分け抽選方式を採用 ●ジュニア・ソフトボール・ルール（小学生用）発行 ●金属バット販売にSGマーク貼布の義務 	1.31～ 6.25 6. 8. 8.	<ul style="list-style-type: none"> ●第4回世界男子選手権大会（ニュージーランド・ウェリントン） 日本チーム：ナショナルチーム 成績：第4位（6勝7敗） ●国際ルール委員会（カンサスシティ） 日本代表：御喜 正 木庭修一 ●アジア選手権、参加国不足のため中止 ●日体大男女チーム、台湾遠征 ●神田女学園チーム、中国遠征 	1.8 周恩来死去 2.4 ロッキード事件 7.17 第21回モントリオール五輪 9.9 毛沢東死去
1977	昭和52年 4.2 5.13	<ul style="list-style-type: none"> ●ドックスブルース女子チーム（カナダ）来日 ●パパパ女子チーム（ニュージーランド）来日 	4.13～ 5.29	<ul style="list-style-type: none"> ●I S F総会（南アフリカ・ヨハネスブルグ） 日本代表：向山文人 木庭修一 ●'78年カナダ開催予定の第4回世界女子選手権大会が返上され、日本開催が決定 	
1978	昭和53年 4. 5.2	<ul style="list-style-type: none"> ●第4回世界女子選手権大会返上 ●経理上の問題のため、理事全員辞任 	6.24 10.13～	<ul style="list-style-type: none"> ●I S Fルール委員会（シカゴ） 日本代表；木庭修一 ●第4回世界女子選手権 	8.12 日中平和条約調印

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1978	昭和53年6.1	<ul style="list-style-type: none"> ●新理事選出。加藤正雄新専務理事就任 ●総合選手権大会の開催を東京、大阪隔年と決定 		大会（エルサルバドル・サンサルバドル） 開催国国情不安のため日本不参加	12.15 米中国交正常化
1979	昭和54年7 7.14 8.20 10.15 10.22 10.29 11.30 12.1	<ul style="list-style-type: none"> ●記録委員会発足 ●加藤専務理事死去 ●第1回全国中学校女子大会（埼玉） ●創立30周年記念ワールドカップジャパンシリーズ開催 参加チーム：カナダ、ニュージーランド、米国、ホンコン、日本代表、日本選抜 成績：日本選抜優勝 日本代表第3位 ●創立30周年記念表彰式、祝賀会 ●新専務理事に松岡敬之氏就任 ●中国女子代表チーム来日 ●松前重義会長退任 ●新会長に赤司俊雄氏就任 	4.16	<ul style="list-style-type: none"> ●ISF総会（台北） 日本代表：加藤正雄 木庭修一 	10.25 IOC中国復帰決議 10.27 ソ連、アフガニスタン介入
1980	昭和55年3.16 4. 6.28 7.5 10.	<ul style="list-style-type: none"> ●新専務理事に坂井正郎氏就任 ●D・H制並びに再出場ルールを採用 ●第1回全日本クラブ男女大会（山口） ●坂井正郎専務理事辞任、新専務理事に御喜正氏就任 ●栃の葉国体ソフトボール競技、天皇陛下ご観戦 	4.3～ 4.16～	<ul style="list-style-type: none"> ●女子ミニワールドシリーズ（オーストラリア・ブリスベン） 日本チーム：ナショナルチーム 成績：準優勝（8勝5敗） ●日中女子対抗戦（中国・北京他） 日本チーム：ナショナルチーム 成績：3勝3分 ●第5回世界男子選手権大会（米国・タコマ） 日本チーム：ナショナルチーム 成績：第7位 	6.12 大平首相死去 7.19 第22回モスクワ五輪（日本、米国他不参加） 11.4 レーガン大統領就任

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1981	昭和56年3.15 4. 5. 6.5 8.23 9.5~ 11.	<ul style="list-style-type: none"> ●国際審判員試験 ●打者のヘルメット着用義務化 ●日米加国際親善男子大会 ●I S F 総会開催中止 ●日中対抗女子ユース大会 ●第1回全国家庭婦人大会 ●第1回日中米3か国対抗女子選手権大会 <p style="text-align: center;">日本チーム：ナショナルチーム 成績：第3位</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合選手権を「全日本選手権」と改名 	5 7.3~ 12	<ul style="list-style-type: none"> ●I S F 総会(ホノルル) 日本不参加 ●第1回世界ユース男女選手権(カナダ・エドモントン) (男子) 日本チーム：ナショナルユース 成績：優勝(5か国) ●第1回世界ユース女子選手権(女子) 日本チーム：ナショナルユース 成績：優勝(10か国) ●ホンコン招待女子大会(ホンコン) 日本チーム：日本電装 成績：優勝 ●アジア連盟再建会議(ホンコン) 日本代表：御喜 正 夜久哲朗 	2.23 ローマ法王ヨハネパウロ2世来日
1982	昭和57年2. 3. 11.	<ul style="list-style-type: none"> ●『公認審判員必携』作成 ●役員総辞職 ●日米加国際親善男子大会 <p style="text-align: center;">名誉審判員制度発足</p>	2.20~ 28 4 7 12	<ul style="list-style-type: none"> ●中国壘球協会審判研修会に加藤宗司講師で派遣(昆明市) ●アジア連盟再建会議(ホンコン) 日本代表：御喜 正 夜久哲朗 ●第5回世界女子選手権(台湾・台北) 中国・台湾問題で日本不参加 ●アジア大会正式競技種目承認の支持を得るため、役員インド派遣 日本代表：牧野 巽 夜久哲朗 	11. 第9回アジア競技大会インド、ニューデリーで開催 11.27 中曽根内閣発足
1983	昭和58年3. 4. 5. 6.	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回全国高等学校選抜大会(東京・神奈川) <ul style="list-style-type: none"> ●御喜 正専務理事辞任 ●国際審判員試験(東京) ●新専務理事に高芝 達就任 	1 5.11~	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニワールド男子大会(ニュージーランド・クライストチャーチ他) 日本チーム：静岡選抜チーム 成績：第5位 ●I S F 総会(オクラホマシティー) 日本代表：大澤善朗 下奥信也 	8.21 アキノ氏暗殺

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1983	昭和58年6. 7. 8. 9.	●新専務理事に小池晶之氏就任 ●ニューヨーク女子高校選抜チーム来日 ●全国家庭婦人大会に女性審判員出場 ●ユナイテッド男子チーム（ニュージーランド）来日	6. 7. 10.27～	●日本女子ナショナルチーム米国遠征 ●第2回ホンコン招待女子大会（ホンコン） 日本チーム：ユニチカ 垂井 成 績：準優勝 ●アジア会議（マニラ） 日本代表：大澤善朗 小池晶之	9.1 大韓航空機撃墜 10.12 田中元首相懲役4年実刑判決 10.16 日体協会会長河野譲三氏死去 11.9 レーガン大統領来日 12.7 日体協新会長に福永健司氏就任
1984	昭和59年2. 3. 7. 10. 11.	●バトラー米審判長、審判・記録中央研修会に参加 ●赤司会長退任 ●新会長に高橋豊吉氏就任 ●オクラホマ女子選抜チーム来日、八日市、京都市、武生市、東京都を転戦 ●オリンピック種目への募金活動始まる ●わかくさ国体にISF、アジア諸国の役員を招待 ●ソフトボール讃歌決まる	6.7～ 6.29～ 7.6～ 8.17～ 10.4～ 12.21	●台湾、フィリピン親善訪問団出発（高橋会長以下66名） ●ISF女子国際カップ（ロスアンゼルス） 日本チーム：ナショナルチーム 成 績：第4位 ●第6回世界男子選手権大会（米国・ミッドランド） 日本チーム：ナショナルチーム 成 績：第5位 ●アセアン諸国訪問視察団出発（弘瀬団長以下15名） ●アセアン選手権大会に日本訪問団が出発（弘瀬団長以下16名） ●第3回GAASF定期総会（韓国） 牧野専務理事代行、水原事務局長が出席	2.8 第14回サラエボ冬季五輪 2.10 アンドロポス書記長死去 6.30 日本「世界の長寿国」と厚生省が発表 7.28 第23回ロサンゼルス五輪（ソ連他共産圏諸国不参加） 10.31 ガンジー・インド首相暗殺される 11.1 新札3種発行

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1985	昭和60年		3.7～	●日本選抜チーム、アセアン諸国を技術指導（弘瀬副会長、小池専務以下20名）	3. ソ連新書記長にゴルバチョフ氏
	4.	●インサイドプロテクターの採用、及び審判・捕手のマスクにスロートガード装着が義務化される ●審判員のジャッジにASA型採用 ●タイブレーク制採用	6.25～	●第2回世界ジュニア男女選手権大会（米国・ファージョ） 〈男子〉 日本チーム：ナショナルジュニア 成績：4位（8か国） 〈女子〉 日本チーム：ナショナルジュニア 成績：2位（8か国）	
	5.20～23	●第2回世界ジュニア男女選手権考合宿（豊田市）	7.15～	●日米デモンストレーションゲーム （韓国・ソウル市） 〈男子〉九州選抜チーム 〈女子〉日本代表チーム	
			7.18～	●日中米3か国対抗選手権（中国・北京他） 日本チーム：ナショナルチーム ●第3回ハーレムウィーク （オランダ・アムステルダム） 日本チーム：大学選抜チーム ●第2回ワールドゲームズ （イギリス・ロンドン） 日本チーム：大学選抜チーム	
	8.8～13	●第3回アジア男子選手権大会（静岡市） 日本チーム：ナショナルチーム 成績：優勝（7勝1敗）			8.12 日航123便ジャンボ機御巢鷹山に墜落（死者520名）
	8.31	●小池専務理事辞任			8.24 ユニバーシアード、神戸で開催

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1985	昭和60年 9.7～13 11.7～10 12.15～16 12.31	<ul style="list-style-type: none"> ●ジャパンカップ・ニチイ大会 日本チーム：ナショナルチーム（A・B2チーム） 成績：Aチーム優勝（3勝2敗1分） ●日本選手権大会（大阪球場） 闘犬センター、60年度四冠王となる ●第6回世界女子選手権選考会（東京） ●役員総辞職 ●高橋豊吉会長退任 			
1986	昭和61年1.1 2.9～11 2.26～27 5.10～11 5.18～ 8.19～20	<ul style="list-style-type: none"> ●新会長に弘瀬勝氏就任 ●新専務理事に黒木幹夫氏就任 ●審判・記録中央研修会開催 (岐阜県協会は10年間連続開催で表彰される) ●トレーナー研修会が高知県で初めて開催 ●第1回指導者認定会が高知県で開催 ●第1回評議員会開催の席上特別表彰者16名が発表される ●第1回小学生男子大会の準備大会、高知県で開催（18県34チーム参加） 	1.8) 1.29 6.10) 6.16) 6.22) 7.1) 7.7) 7.23 8.19) 8.20	<ul style="list-style-type: none"> ●第6回世界女子選手権大会 (ニュージーランド・オークランド) 日本チーム：ナショナルチーム 成績：8位 ●ハワイ招待大会派遣 日本チーム：大学実業団混成チーム 成績：優勝 ●サイパン招待男子大会 日本チーム：一般男子選抜チーム 成績：優勝 ●第2回セランゴール大会（マレーシア） 日本チーム：大学高校選抜チーム 成績：準優勝 ●第2回国際チャレンジカップ (カナダ・ニューウエストミンスター) 日本チーム：ナショナルチーム 成績：3位 	

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1986	昭和61年 8.21～22 9.1～7 9.21～23 10.11 11.7～9	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回全国中学校男子大会、群馬県伊勢崎市で開催 ●'86ジャパンカップ・ニチイ大会東日本地区で開催 ●61年度男子リーグ後節(富山)に闘犬センターの選手として、ニュージーランドのジャクソン投手とソレンソン捕手来日、世界のレベルを披露 ●ASA-ASIA(アジアアマチュアソフトボール連盟)総会東京(高輪プリンスホテル)にて開催 弘瀬勝会長、ASA-ASIA新会長に、同事務局も日本協会へ移局。黒木専務理事、同事務局次長に就任 ●第1回全日本壮年大会、山梨県甲府市で開催 			<p>9.20 第10回アジア競技大会、ソウルで開催</p> <p>12.9 ビートたけし、講談社乱入事件</p>
1987	昭和62年 1. 2.5 3.28～30 4. 4.4～5 4.25～27 6.19～22	<ul style="list-style-type: none"> ●審判コンテストのビデオ作成 ●「ルールブック」を日本独自のものに全面改編発行 ●第1回全日本中学校男子・女子選抜大会、福岡県大牟田市で開催 ●ヘルメットの着用(打者・走者・捕手)義務化 ●第1回全日本小学生男子・女子選抜大会、山口県下関市で開催 ●第1回全日本実業団女子2部大会、滋賀県草津市で開催 ●第13回ISF総会開催(東京)、40か国参加・弘瀬会長、ISFアジア地区副会長に再任 ●第9回アジア連盟総会(6.19・東京) 	<p>1.19 }</p> <p>2.11</p> <p>2.13 }</p> <p>3.4</p> <p>3.6 }</p> <p>3.8</p> <p>6.6 }</p> <p>6.17</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●男子ナショナルチーム、ニュージーランド遠征 ●女子ナショナルチーム、国際交流基金の派遣で、東南アジア、オセアニアの技術指導・親善大会遠征 ●ハワイ招待大会 日本ジュニア女子A(優勝) 日本ジュニア女子B(準優勝) シニア選抜、小学生男子選抜親善試合 ●国際女子大会(台湾) 成績:準優勝(7か国) 	<p>1.17 女性エイズ患者第1号神戸で認定、エイズパニックに</p> <p>2.9 NTT株160万円のフィーバー、財テクブームのシンボルに</p> <p>4.1 旧国鉄、分割・民営化、JR11社で新スタート</p>

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1987	昭和62年	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回審判コンテスト開催 (6.20・東京) ●第1回記録コンテスト開催 (6.20・横浜) ●'87ニチイ・ジャパンカップ (6.21～24・東京、横浜) 8.1～3 ●第1回全日本クラブ男子2部大会、埼玉県熊谷市で開催 8.1～4 ●第1回全日本小学生男女大会、高知県で開催 8.5～6 ●第1回全日本ママさんスローピッチ大会、神奈川県小田原市で開催 8.20～23 ●第1回全日本実業団男子2部大会、滋賀県守山市で開催 8.25～27 ●第1回にあたる'87ニチイ杯全日本ママさん大会、大阪市(日生球場)で開催 8 ●国際審判員試験(大阪) 9.13～15 ●第1回全日本クラブ女子2部大会、岐阜県各務原市で開催 " ●第1回にあたる62年度全日本シニア大会、宮崎県日向市で開催 10.17～20 ●第1回クラブ男子3部大会(現普及大会)、静岡県清水市で開催 11.15～17 ●第4回アジア女子選手権大会、高知市で代替開催 成績：第2位 (6か国) 11.14～18 ●第10回アジア連盟総会開催(高知市9か国参加) 11. ●国際審判員試験(高知) 	<ul style="list-style-type: none"> 7.10 } 7.18 	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回世界女子ジュニア選手権大会(米国・オクラホマ) 成績：3位(10か国) 	<ul style="list-style-type: none"> 7.17 石原裕次郎死去(52歳) 8.30 ベン・ジョンソン(カナダ)男子100mに9秒83の世界新(後日、ドーピングで記録抹消される) 10.12 ノーベル医学・生理学賞に利根川進(米国在住) 10.26 沖縄国体、日の丸焼却事件 11.6 竹下登、第74代首相に 11.8 岡本綾子、米女子プロゴルフツアー賞金女王と年間最優秀選手賞に
1988	昭和63年	<ul style="list-style-type: none"> 4.1 ●走者・捕手のヘルメット着用義務化 	<ul style="list-style-type: none"> 3.24 } 3.30 5. 6.25 } 26 	<ul style="list-style-type: none"> ●ニチイ杯全日本選抜ハワイ親善大会(全日本ママさん、シニア、小学生男女、ジュニア女子の各選抜遠征) ●タイ協会審判・技術研修会に直嶋 勇、岡 賢氏を講師で派遣(バンコク市) ●サイパン親善大会 	<ul style="list-style-type: none"> 4.10 瀬戸大橋開通

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1988	昭和63年		7.3 }	●第5回アジアスポーツ連盟(GAASF)総会、北京で開催	7.3 米艦、イラン旅客機撃墜、290人死亡
	7.	●国際審判員試験(高知)	7.5	①'90アジア大会(北京)で女子ソフトボール初めて正式種目に決定	7.6 リクルート江副会長辞任
	7.20	●笹川良一氏、名誉会長に就任	7.8 }	●日中米女子選手権大会、オクラホマのISF殿堂球場で開催	
			7.10 }	●中国壘球協会審判研修会に加藤宗司氏(前半)、石田佳邦氏(後半)を講師で派遣	
	10.22~25	●MYCAL-CUP'88全日本ママさん選手権大会、横浜スタジアム他で開催	7.24 }	●第7回世界男子選手権大会(カナダ・サツカトゥーン市)、14か国参加、日本第5位	9.17 第24回ソウル五輪
	10.31~11.2	●第1回全国健康福祉祭の高齢者大会、兵庫県で開催	7.29 }		10.27 西武、日本シリーズ3連覇
	11.13~15	●第1回全国スポーツ・レクリエーション祭の女子大会山梨県で開催	8.7		11.8 米新大統領にブッシュ氏就任
1989	平成元年				1.7 天皇陛下崩御、新元号「平成」に
	4.9	●役員総辞職			12 日体協会長に青木半治氏就任
	4.30	●新会長に大浦辰男氏就任、黒木幹夫氏専務理事再選、'90年3月までの残任期間の役員決まる	6.14~	●第14回ISF総会開催(カナダ・バンクーバー)、大浦会長・宍倉副会長出席	3.18 伊藤みどり、フィギュア世界選手権で「金」
			6.18	●大浦会長、アジア地区副会長に就任 同ルール委員会に松田謙則、坂本 繁氏出席	4.1 「消費税」スタート
			6.23 }	●第3回世界ジュニア男子選手権大会(カナダ・プリンスエドワード島)	6.2 宇野内閣発足
			7.1	7チーム参加、日本第3位	6.24 美空ひばり死去

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1989	平成元年 11.11～19	●第7回世界女子選手権 第11回アジア大会代表選 考会、東・中・西各地で 開催			8.9 海部内閣発足 9.25 千代の富士に 「国民栄誉賞」 11.19 「ベルリン の壁」崩壊
1990	平成2年 2.4 3.16 4 4.11 4.20～ 5.3	●協会創立40周年記念、 表彰式・祝賀会（東京） ●大浦辰男会長、黒木幹 夫専務理事再任 ●高校生以下の金属製ス バイク禁止 ●笹川良一日ソ協名誉会 長、I S F名誉会長就任 ●I S Fアジア地区審判 クリニック開催、10か国 参加（東京：講師バトラ ーI S F審判長） ●男子リーグ3節制とな る	4.28～ 6.28～ 7.13～ 9.23～	●第4回アジア男子選手 権大会（フィリピン・マ ニラ／5か国） 日本チーム：オール日 体大 成績：3位（7勝3敗） ●カナダチャレンジカッ プ男子（サスカチュワ ン／7か国・9チーム） 日本チーム：ホンダエン ジニアリング 成績：8位（1勝7敗） ●第7回世界女子選手権 大会（米国・ノーマル／ 20か国） 日本チーム：ナショナ ルチーム 成績：5位（6勝3敗） ●第11回アジア大会（中 国・北京／5か国） 日本チーム：ナショナ ルチーム 成績：2位（6勝2敗）	1.10 春日野前相撲 協会理事長死去 3.15 ゴルバチョフ 大統領就任 11.29 国連安保理 対イラク「武力 容認」決議
1991	平成3年2. 2.	●『審判・記録員必携』 『競技者必携』として発 行 ●中央研修会に参加者増 員 審判・記録（各48名）、 ルール（10名）	4.20～ 6.13～	●第4回世界ジュニア女 子選手権大会（オースト ラリア・アデレード／12 か国） 日本チーム：ジュニア ナショナルチーム 成績：優勝（12勝2敗 10年振り2度目） ●'96アトランタ五輪（米 国）での女子ソフトボー ル正式種目採用決まる	1.17 国連多国籍 軍、イラククウェ ートへの空爆を開 始 5.15 夏場所3日目 横綱・千代の富 士、引退 6.3 長崎・雲仙普 賢岳火砕流発生

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1991			7.2～ 8.2～	<p>●第15回 I S F 総会開催 (ネザールランドアンティルス・キュラーソ/36か国)、大浦辰男会長・宍倉博副会長出席 同ルール委員会に坂本繁ルール委員出席</p> <p>●第10回アジア連盟総会開催 (インドネシア・ジャカルタ/13か国)</p> <p>●第5回アジア女子選手権 (インドネシア・ジャカルタ/11か国) 日本チーム：日立高崎 成績：第3位 (8勝2敗)</p>	
	9.25	●松前重義元会長死去 (89歳)			
	10.24	●会長推薦理事の年齢制限を70歳未満に延長			
	11.29	●五輪に向けての「選手強化本部」設立総会開催			
	11.	●第12回広島アジア大会 ('94) 女子ソフトボール正式種目採用決まる			
1992	平成4年3.10	●平成4・5年度大浦辰男会長・黒木幹夫専務理事再任される	3.20～	<p>●第8回世界男子選手権大会 (フィリピン・マニラ/18か国) 日本チーム：ナショナルチーム 成績：第4位 (7勝2敗)</p>	
	4.18	●女子リーグ6節制となる			
	4.24	●男子リーグ4節制となる			
	4.26	●第1回全国事務局長会議開催			
	5.3	●男子2部リーグ創設			
	6.14～16	●第4回日・中・米女子選手権大会(出雲ドーム) 日本チーム：ナショナルチーム 成績：第3位 (1勝3敗)	6.21～	<p>●'92女子チャレンジカップ (中国・北京/8か国) 日本チーム：ナショナルチーム 成績：第3位 (5勝4敗)</p>	6.15 PKO協力法成立、自衛隊カンボジア派遣
			9.14～17	●第11回アジア連盟総会開催 (東京・品川/15か国)	7.25 第25回バルセロナ五輪 (スペイン) 8.25 桜田淳子・山崎浩子、統一教会で合同結婚式

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
1992	平成4年	<p>11. ●アトランタ五輪へ向け強化資金の募金始まる</p> <p>12.9 ●四角誠一元会長死去 12.26 ●赤司俊雄元会長死去</p>			<p>9.12 日本人初の宇宙飛行士・毛利衛、米スペースシャトル「エンデバー」で宇宙へ</p> <p>10.14 佐川献金疑惑で金丸 信議員辞職、自民党分裂、政局混迷へ</p>
1993	平成5年1.27	<p>●機関誌JSAソフトボール、第三種郵便物認可</p> <p>2.14～15 ●第1回指導者中央研修会、岐阜羽島市で開催</p> <p>3.7～8 ●第1回強化本部研修会(ミズノソフトボールクリニック)開催</p> <p>3.17 ●ミズノ(株)と4年間のオフィシャルサプライヤー契約調印</p>	<p>2.12～21</p> <p>4.24・25</p> <p>5.28～6.1</p> <p>6.22～27</p>	<p>●第4回世界ジュニア男子選手権大会(ニュージーランド・オークランド市/7か国) 日本ジュニアナショナルチーム第3位(9勝5敗)</p> <p>●タイ協会・タイ日本人ソ協審判研修会に加藤宗司氏を講師派遣(バンコク市)</p> <p>●第16回ISF総会開催(台湾・台北市)、大浦会長・宍倉副会長・塩田昭三氏出席 ・大浦会長、アジア地区副会長に再選 ・宍倉副会長、日本人初の殿堂入りを果たす ・同審判委員会に加藤宗司氏、ルール委員会に吉兼文彦氏出席 ・'96アトランタ五輪の予選方式決まる</p> <p>●'93女子カナダカップ(ブリティッシュコロンビア州・サレー市/6か国・14チーム) 日本ナショナルチーム第7位</p>	<p>1.20 クリントン第42代米大統領就任</p> <p>1.27 曙、初の外国人横綱に</p> <p>3.6 金丸 信前自民党副総裁を脱税容疑で逮捕</p> <p>5.15 サッカーJリーグ開幕</p> <p>6.9 皇太子・雅子さまご成婚</p> <p>7.12 北海道南西沖地震で死者202名</p>

西歴	年号・月日	国内	月日	国際	社会一般
	8.2	●皇太子殿下・雅子妃殿下、第45回全国高校総体女子ソフトボールご観戦			8.6 細川護熙第79代首相に就任、連立政権誕生で38年間の自民党政権崩壊
	12.13	●日本女子リーグ(1部) 8チームから12チームに			11. 冷夏・豪雨等の異常気象で農作物被害最悪、コメ緊急輸入へ 12. バブル崩壊後の大型不況深刻化
1994	平成6年 1.20	●グリーンソフトボール・ルール(小学生授業での実践)発行			2.12 第17回リレハンメル冬季五輪(ノルウェー)開催、この大会から冬季大会は夏季五輪の中間年に開催となる
	2.12~14	●平成5年度審判・記録・ルール中央研修会(岐阜県開催20周年記念大会)開催 ・バトラー I S F 審判委員長招待	2.27~ 3.5	●第5回アジア男子選手権大会(フィリピン・マニラ市/7か国) 日本ナショナルチーム優勝(8戦全勝)	
	2.27	●平成6・7年度大浦辰男会長、黒木幹夫専務理事再任	3.13~ 15	●第1回アジア審判・技術研修会開催(中国・昆明市)・審判の部6か国、技術の部9か国参加 ・加藤宗司審判委員長、岡 賢強化部長講師派遣	
	4.6	●(株)アシックスと全日本ジュニアナショナルチーム、4年間のオフィシャルサプライヤー契約調印	4.20~ 25	●サウスパシフィック大会(オーストラリア・シドニー市/6か国・8チーム) 日本ナショナルチーム準優勝(6勝4敗)	4.26 中華航空機、名古屋空港で墜落、死者264名 4.28 羽田孜連立内閣発足
	5.7	● I S F 基準の新革ボール検定(いわゆる飛ぶボールの平成7年度公式使用球決まる)	5.8~9	●第12回アジア連盟総会開催(シンガポール/12か国)、大浦会長同連盟会長に就任	6.29 村山富市社会党委員長第81代首相に就任
	9.23~26	●'94ママさん大会(金沢市・専光寺球場)の全試合を女性審判員が担当	7.29~ 8.7	8回世界女子選手権大会兼'96五輪第1次予選(カナダ・セントジョン市/28か国) 日本ナショナルチーム第7位	7.8 日本初の女性宇宙飛行士向井千秋さん宇宙へ 7.9 北朝鮮金日成主席死去 9.4 関西国際空港開港 10.4 M7.9の北海道東方沖地震発生、死者16名
	11.26・27	●日本女子リーグ1部決勝トーナメント方式採用(上位4チームによるページシステム/藤井寺球場)	10.3~ 7	●第12回アジア大会(広島市/4か国) 日本ナショナルチーム準優勝(4勝2敗)	10.13 ノーベル文学賞に大江健三郎氏 11.21 貴乃花横綱に昇進 12.28 三陸沖はるか地震で死傷者280余人

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>1995 (平成 7 年)</p> <p>7. 18 ●笹川良一名誉 会長死去 ●岩野次郎顧問死去</p> <p>9. 15 ●宍倉 博副会 長死去</p>	<p>2. 23～25 ●日本女子ナショナルチ ームアトランタ五輪アジア・オセアニア 地区予選でニュージーランドを破り代 表権獲得 (ニュージーランド・オーク ランド市 / 3 か国)</p> <p>3. 11・12 ●第 2 回アジア連盟審判・技 術研修会に井上三春・岡崎重春氏参加</p> <p>3. 12～18 ●第 6 回アジア女子選手権 大会 (フィリピン・マニラ市 / 11 か国) 日立高崎チーム準優勝</p> <p>6. 13～21 ●第 17 回 ISF 総会開催 (プ エルトリコ・サンファン市)、大浦辰男 会長・宍倉 博副会長・塩田昭三国際委 員長・吉兼文彦ルール委員長出席 ・大浦会長「ISF 名誉会長」就任 ・98 年第 9 回世界女子選手権大会の静 岡県富士宮市開催決まる (g 原貞秋県 理事長ら関係者 5 名誘致に同行)</p> <p>6. 19～25 ●'95 カナダカップ (サレー 市 / 16 チーム) 日本ナショナルチーム第 8 位</p> <p>6. 24～7. 1 ●第 5 回世界ジュニア女子 選手権大会 (アメリカ・ノーマル市 / 14 か国) 日本ジュニアナショナルチ ーム準優勝)</p> <p>8. 3～6 ●プレ五輪 (米国・コロンバ ス市 / 6 か国) 日本ナショナルチーム第 5 位</p> <p>12. 15～16 ●ISF 理事会 (米国・パー ムスプリングス) で五輪役員に、大浦辰 男会長 (メディカル・ドーピング委員) と加藤謙蔵審判員決まる</p>	<p>1. 17 ●阪神大震災で死者 5000 名以上</p> <p>2. 22 ●ロッキード裁判、最高裁が首 相の収賄を認定する判決</p> <p>3. 20 ●地下鉄サリン事件</p> <p>3. 38 ●三菱銀行と東京銀行が合併。 東京三菱銀行に</p> <p>3. 31 ●1 ドル 86 円台突入。円は戦後 最高値に</p> <p>4. 9 ●東京都知事に青島幸男、大阪府 知事に横山ノックが就任</p> <p>4. 19 ●米連邦ビル爆発。死傷者多数、 米国史上最大のテロ事件</p> <p>5. 31 ●世界都市博中止を決定</p> <p>8. 23 ●福岡ユニバーシアード開幕</p> <p>9. 5 ●フランスが南太平洋で地下核実 験</p> <p>10. 6 ●エイズ薬害で国の責任を指摘</p> <p>11. 9 ●米大リーグ、ロサンゼルス・ ドジャースの野茂英雄がナ・リーグ新 人王に</p> <p>12. 8 ●もんじゅでナトリウム漏れ事 故</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>1996 (平成 8 年)</p> <p>2. 1 ● 「ルール・ケースブック」(ルール委員会編) 発行</p> <p>2. 25 ● 平成 8・9 年度日ソ協会長に黒木幹夫氏、専務理事に内田清氏就任</p> <p>● 大浦辰男名誉会長就任</p> <p>● 男女 1・2 部リーグでのダブルベース採用決まる</p> <p>3. 2 ● 大学連盟 30 周年記念祝賀会開催 (学習院大学記念会館)</p> <p>3. 29 ● 日ソ協公認指導者資格が、文部大臣認定公認ソフトボール C 級スポーツ指導員への移行認められる</p> <p>4. ● 高校生の金属製スパイクの使用が実施される</p> <p>9. 7～9 ● 第 1 回エルダー大会開催 (宮城県/40 チーム)</p>	<p>5. 10～12 ● ISF アジア地区国際審判員認定会開催、7 か国参加 (静岡県・富士宮市/講師 バトラー ISF 審判長)</p> <p>6. 13～19 ● 第 13 回アジア総会開催 (インド・デリー)</p> <p>7. 5～13 ● 第 9 回世界男子選手権大会 (アメリカ・ミッドランド市/22 か国) 日本ナショナルチーム 3 位</p> <p>7. 21～30 ● アトランタ五輪 (アメリカ・コロンバス市/8 か国) 日本ナショナルチーム 4 位</p> <p>11. 15 ● シドニー五輪に女子ソフトボールの種目入りが IOC で決定</p>	<p>1. 11 ● 橋本竜太郎自民党総裁が第 82 代首相に就任</p> <p>1. 27 ● シラク仏大統領、核実験の終了を宣言</p> <p>2. 10 ● 北海道古平町のトンネル崩落事故で 20 人死亡</p> <p>2. 14 ● 将棋の羽生名人が史上初の 7 冠</p> <p>3. 1 ● 初のアジア欧州首脳会議 (ASEM) がタイバンコクで開催</p> <p>3. 7 ● 沖縄女児暴行事件で米兵に有罪判決</p> <p>4. 24 ● 麻原彰晃初公判</p> <p>7. 19 ● 第 26 回アトランタ五輪 (米国)</p> <p>8. 4 ● 俳優・渥美清死去</p> <p>9. 3 ● 米、イラクをミサイル攻撃</p> <p>9. 17 ● ロサンゼルス・ドジャースの野茂英雄が、ロッキーズ戦でノーヒットノーランを達成</p> <p>11. 2 ● 第 2 次橋本内閣スタート</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>12.5～6 ●ISFからドナルド・ポーター会長、アンドリュー・ロックナーJr事務総長が来日。富士宮を視察</p>		<p>12.17 ●ペルー日本大使公邸襲撃・占拠。各国大使ら800人人質</p>
<p>1997 (平成9年)</p> <p>2.23 ●アトランタ五輪記念誌発刊</p> <p>2.27 ●第1回報道関係懇談会開催／東京</p> <p>4. ●ミズノ(株)と4年間のオフィシャルサプライヤー契約調印</p> <p>4. ●全種別のダブルベースの使用の義務化</p>	<p>6.4～5 ●第18回ISF総会開催(アメリカ・ロングビーチ)、黒木幹夫会長、塩田昭三国際委員長、坂本繁ルール副委員長が参加</p> <p>6.23～27 ●第1回アジアユース選手権大会(インド・チェンマイ市／7か国)</p> <p>白鷗大足利高校優勝</p> <p>7.10～13 ●'97スーパーボールクラシック(アメリカ・ジョージア州コロンバス／7か国)日立高崎チーム第3位</p> <p>7.20～27 ●第5回世界ジュニア男子選手権大会(カナダ・セントジョンズ／11か国)日本ジュニアナショナルチーム第5位</p> <p>10.11～19 ●第19回シーゲームズ(インドネシア・ジャカルタ)に、吉田優秀氏を審判員として派遣</p>	<p>1.24 ●JR東日本初乗り10円上げ、15年ぶり。4月から130円に</p> <p>2.19 ●中国・鄧小平死去</p> <p>3.1 ●ノルデックスキー世界選手権ジャンプ、ラージヒルで原田雅彦が日本初の金</p> <p>5.30 ●伊良部、米大リーグ「ヤンキース」に入団</p> <p>6.26 ●オリックス・イチロー、無三振記録(連続216打席)</p> <p>6.28 ●神戸市小学6年男子殺害事件で中学3年男子を逮捕</p> <p>7.1 ●香港、中国に返還</p> <p>7.10 ●鹿児島県出水市で土石流、21人死亡</p> <p>8.13 ●2008年五輪国内候補地に大阪市</p> <p>8.26 ●動燃東海事業所で、放射性物質漏出</p> <p>9.1 ●ダイアナ元英皇太子妃事故死</p> <p>10.1 ●長野新幹線開通、東京-長野間を1時間19分</p> <p>11.16 ●サッカーW杯フランス大会に、日本出場権獲得</p> <p>11.24 ●山一証券倒産、負債総額3兆5,100億円</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
		<p>12.5 ●円安加速、5年半ぶりに1ドル130円台に</p> <p>12.16 ●アニメ番組ポケモンで異常が発生、子供ら685名が病院へ収容</p>
<p>1998年（平成10年）</p> <p>2. ●平成10～11年度日ソ協会長に黒木幹夫氏が再任、専務理事に井上敏氏が就任</p> <p>3.16～18 ●ドナルド・ポーターISF会長、アンドリュー・ロックナーJr事務総長が富士宮を最終視察</p> <p>3.18 ●第9回世界女子選手権大会記者発表会（東京会館） ドナルド・ポーターISF会長、アンドリュー・ロックナーJr事務総長が列席</p> <p>4.19 ●第9回世界女子選手権大会会場の「静岡県ソフトボール場」落成記念式典行われる</p>	<p>1.28～2.10 ●日本女子ナショナルチーム、ニュージーランド遠征。サニークラシック大会、サウスパシフィック大会に参加</p> <p>3.14～21 ●第6回アジア男子選手権大会（フィリピン／5か国） 日新製鋼優勝</p> <p>6.11～23 ●'98女子カナダカップ（ブリティッシュコロンビア州・サレー市／9か国・16チーム） 日本ナショナルチーム第3位</p> <p>7.20～30 ●第9回世界女子選手権大会（静岡県富士宮市／17か国） 日本ナショナルチーム第3位</p>	<p>2.7 ●第18回冬季オリンピック（日本・長野）</p> <p>2.15 ●韓国大統領に金大中就任</p> <p>2.19 ●日興証券利益供与事件の新井将敬衆院議員自殺</p> <p>3.5 ●第7回冬季パラリンピック（日本・長野）</p> <p>3.24 ●米・アーカンソー州の中学校で、11歳と13歳の男子がライフル銃を乱射。教師・生徒5人が死亡、11人が負傷</p> <p>4.5 ●本州と淡路島を結ぶ世界最長のつり橋明石海峡が開通（全長3911メートル）</p> <p>4.14 ●帝国データバンクが、'97年度倒産、負債最悪の15兆1203億円と発表</p> <p>4.15 ●カンボジアのボル・ポト元首相死去</p> <p>5.8 ●サッカーくじ法案が可決</p> <p>5.14 ●米のエンターテイナーF・シナトラ死去</p> <p>5.24 ●史上初の兄弟横綱誕生（若乃花、貴乃花）</p> <p>5.26 ●天皇・皇后、昭和天皇以来27年ぶり訪英</p> <p>6.17 ●クリントン米大統領が不倫疑惑で証言</p> <p>7.30 ●小淵新内閣発足</p> <p>8.9 ●中国・長江で44年ぶり大洪水、死者8,000人</p> <p>9.6 ●黒沢明監督死去</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>10.20 ●地域スポーツ指導者用「ソフトボール指導教本」(指導者委員会編)発行</p>	<p>12.6～20 ●第13回アジア大会開催(タイ・バンコク/7か国)日本女子ナショナルチーム準優勝</p> <p>12.15 ●第14回アジア連盟総会開催(タイ・バンコク)、黒木幹夫会長、井上敏専務理事、久保源治国際委員長出席</p>	<p>10.4 ●和歌山カレー毒物混入事件で林真須美逮捕</p> <p>10.23 ●長銀破たん、国有銀行に</p> <p>10.29 ●向井千秋、2度目の宇宙へ</p> <p>11.20 ●クリントン米大統領来日</p> <p>12.24 ●インターネット宅配毒物で女性自殺</p> <p>12.28 ●西武、松坂大輔を入団正式発表</p>
<p>1999年(平成11年)</p> <p>3.26 ●報道関係懇談会開催/東京</p> <p>5.30 ●日本協会創立50周年記念、表彰式・祝賀会(東京・品川プリンスホテル)</p> <p>8.6 ●第1国ミニソフトボール大会開催(滋賀県守山市民球場/8チーム)</p> <p>8.11～18 ●'99ジャパンカップ開催(神奈川県横浜市・静岡県富士宮市・群馬県高崎市/3か国)日本女子ナショナルチーム優勝</p>	<p>6.17～25 ●第6回世界女子ジュニア選手権大会(台湾・台北市/15か国)日本ジュニアナショナルチーム優勝</p> <p>6.19～27 ●第10回ハーレムソフトボールウイーク(オランダ・アムステルダム/5か国)日本女子ナショナルチーム優勝</p> <p>7.3～11 ●'99カナダカップ(カナダ・サレー市/5か国16チーム)日本女子ナショナルチーム第4位</p>	<p>1.1 ●欧州単一通貨ユーロ誕生</p> <p>1.25 ●コロンビアでM6の大地震、死者2,000人</p> <p>2.7 ●ヨルダンフセイン国王死去</p> <p>2.12 ●クリントン米大統領に無罪判決</p> <p>2.24 ●JOC会長に八木祐四郎が就任</p> <p>3.28 ●コソボ難民、50数万人</p> <p>4.10 ●国民銀行破たん、債務超過712億円</p> <p>4.11 ●東京都知事に石原慎太郎氏が就任</p> <p>5.6 ●東山魁夷死去</p> <p>6.18 ●ケルン・サミット開催</p> <p>7.16 ●ケネディJr. 自家用機墜落事故死</p> <p>7.23 ●全日空機ハイジャック、機長刺されて死亡</p> <p>8.9 ●日の丸・君が代を国旗・国歌とする法律成立</p> <p>8.17 ●トルコで大地震、死者1万人</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>10.24～27 ●第54回国 民体育大会開催（熊本 県荒尾市・水俣市） 成年男子2部が廃止さ れ4種別に</p> <p>12.18～19 ●第1回技 術中央研修会開催（静 岡県天城湯ヶ島町） ニュージーランドから 講師としてレスター・ ボールドウィン氏（同 国常務理事）、ステイ ーブ・レイチ氏（元ナ ショナルチーム投手） が来日</p> <p>12.23～26 ●競技力向 上指導者（C級コーチ） 養成会開催（静岡県天 城湯ヶ島町）</p>	<p>8.30～31 ●第19回ISF総会開催（韓 国・ソウル）、黒木幹夫会長、久保源 治国際委員長、田中昭平ルール委員長 出席</p> <p>10.31～11.6 ●第7回アジア女子選手 権大会（中国・上海市／10か国）東京 女子体育大学準優勝</p> <p>11.13～27 ●平成11年度スポーツ専門 家短期派遣事業（国際交流基金） 日本女子ジュニアナショナルチームを アジア・オセアニア地区へ派遣</p> <p>12.1～5 ●第10回世界男子選手権アジ ア予選会（シンガポール・カランソフ トボール場／7か国） 日本ナショナルチーム優勝（出場権獲 得）</p>	<p>9.1 ●山口元労相に懲役求刑</p> <p>9.21 ●台湾でM7.6の大地震、死者 2,000人</p> <p>9.30 ●東海村臨界事故で3人が大量 被爆</p> <p>10.1 ●中国建国50年式典</p> <p>10.8 ●甲山事件の山田さん、無罪確 定</p> <p>11.4 ●神奈川県警、覚せい剤事件で 元本部長を書類送検</p> <p>11.25 ●「春奈ちゃん」殺害事件で主 婦を逮捕</p> <p>12.13 ●横山ノック大阪知事にわいせ つ行為で賠償命令</p> <p>12.19 ●マカオ、中国に返還</p> <p>12.21 ●京都市の小学校2年生男子、 校庭で切られ死亡</p>
<p>2000年（平成12年）</p> <p>1.7～10 ●競技力向上 指導者（C級コーチ） 養成会開催（静岡県天 城湯ヶ島町）</p> <p>1.10 ●大浦辰男名誉 会長死去</p> <p>2.26 ●平成12～13年 度会長に黒木幹夫氏、 専務理事に井上敏氏が 再任される</p> <p>3. ●専門委員会の統 廃合が行われる。用具 委員会が技術委員会 に、国際委員会が総務 委員会に統合。新たに 普及委員会が開設さ れ、ルール委員会が特 別委員会に</p>	<p>1.10～19 ●日本男子ジュニアナシ ョナルチーム、ニュージーランドへ遠征 （ネルソン市）</p> <p>1.18～28 ●日本女子ナショナルチ ーム、台湾合宿</p> <p>2.7～22 ●日本女子ナショナルチ ーム、米国・サンディエゴ合宿</p> <p>3.8～23 ●日本女子ナショナルチ ーム、オーストラリア・ブリスベンで合 宿</p>	<p>1.13 ●米マイクロソフト社ビル・ゲ イツ会長退任</p> <p>1.19 ●ヤフー株、日本初の1億円台 に</p> <p>1.29 ●新潟県で行方不明少女、9年 ぶりに発見</p> <p>3.8 ●営団地下鉄日比谷線で脱線衝 突、5人死亡</p> <p>3.23 ●オレンジ共済友部達夫参院議 員に懲役10年の実刑</p> <p>3.28 ●年金改正案が成立</p> <p>3.31 ●北海道有珠山が噴火</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>4.9 ●「日本女子ナショナルチームメディアガイド」発刊</p> <p>4.20 ●シドニーオリンピック 激励会（東京・憲政記念館）</p> <p>4.30 ●第1回普及委員会開催（東京）</p> <p>5.9 ●シドニー五輪代表選手15名、記者会見で正式発表（東京・岸体）</p> <p>7.17 ●報道関係懇談会（静岡天城湯ヶ島町）</p> <p>8.5 ●第1回全国普及中央研修会開催（滋賀県守山市）</p>	<p>4.25～30 ●国際女子ソフトボールカップ開催（オーストラリア・ブラックタウン／5か国）日本女子ナショナルチーム準優勝</p> <p>7.7～15 ●第10回世界男子選手権大会（南アフリカ・イーストロンドン／16か国）日本ナショナルチーム準優勝</p> <p>9.17～26 ●シドニー五輪（オーストラリア・ブラックタウン／8か国）日本女子ナショナルチーム銀メダル</p> <p>12.3～6 ●I S Fからミック・ハン氏が2008年五輪の開催地に立候補している大阪の舞洲ソフトボールスタジアムを視察</p> <p>12.12～13 ●第15回アジア連盟総会開催（インド・アウラガ）、黒木幹夫会長、井上敏専務理事、久保源治理事出席</p> <p>12.12～ ●第2回アジア女子ジュニア選手権大会（インド・アウラガ／5か国）西山高（京都）準優勝</p>	<p>4.1 ●介護保険スタート</p> <p>4.5 ●小渕首相脳こうそくで退陣、森内閣発足</p> <p>4.9 ●石原都知事「三国人」発言</p> <p>4.10 ●韓国と北朝鮮が初の首脳会談</p> <p>5.1 ●17歳少年「経験」に主婦殺害</p> <p>5.3 ●17歳少年がバス乗客を人質・殺傷</p> <p>5.7 ●ロシア第2代大統領にプーチン就任</p> <p>5.20 ●台湾総統に陳水扁就任</p> <p>6.16 ●良子皇太后崩御（97歳）</p> <p>6.19 ●竹下登元首相死去</p> <p>7.1 ●雪印製造で1万人以上が食中毒</p> <p>7.19 ●2000円札が発行される</p> <p>7.21 ●沖縄サミット、名護市で開催</p> <p>7.25 ●仏で超高速旅客機コンコルドが墜落、114人が死亡</p> <p>8.14 ●ロシア原潜「クルスク」、演習中に沈没、118人死亡</p> <p>9.1 ●三宅島、噴火続きで全島民が島外へ非難</p> <p>9.3 ●ロシアのプーチン大統領来日</p> <p>9.15 ●シドニー五輪で、高橋尚子が金メダル</p> <p>9.20 ●大和銀行旧役員に830億円の賠償命令</p> <p>10.13 ●韓国の金大中大統領にノーベル平和賞</p> <p>10.15 ●長野県知事に作家の田中康夫氏が就任</p> <p>11.5 ●考古学者が「旧石器発見」をねつ造</p> <p>11.8 ●重信房子日本赤軍最高幹部を大阪で逮捕</p> <p>11.5 ●ペルーのフジモリ大統領、日本滞在中に罷免</p> <p>12.5 ●第2次森内閣発足</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>2001 (平成13年)</p> <p>3.7 ●日本協会OB会 設立総会 (静岡県熱海 市)</p> <p>3.30 ●ミズノ(株)と日 本ナショナルチーム 男・女、4年間のオフ ィシャルサプライヤー 契約調印式 (東京・千 代田区ミズノ(株))</p> <p>6.9 ●日本女子ナシ ョナルチーム、第13回ユ ネスコ・日本フェアプ レー特別賞を受賞</p> <p>6.24 ●日本女子ナシ ョナルチーム、平成12 年度JOCスポーツ賞 「年度賞」を受賞</p>	<p>4.21～28 ●第6回世界男子ジュニア 選手権大会 (オーストラリア・ブラッ クタウン/10か国) 日本ジュニアナシ ョナルチーム準優勝</p>	<p>1.6 ●中央省庁が1府22省庁から1府 12省庁に再編</p> <p>1.20 ●ジョージ・ブッシュ、米国第 43代大統領に就任</p> <p>1.26 ●JR新大久保駅でホームに転落 した男性救助の韓国人学生ら3人とも 死亡</p> <p>2.9 ●ハワイ沖で、愛媛県立宇和島水 産高校の実習船「えひめ丸」が米原潜 「グリーンビル」に衝突され沈没</p> <p>2.10 ●不明英国人女性・ルーシー・ ブラックマンさん、遺体で発見</p> <p>3.1 ●平均株価、バブル後最安値を更 新</p> <p>3.28 ●薬害エイズ事件の安部元帝京 大学副学長に無罪判決</p> <p>4.2 ●イチロー、米大リーガーへ移籍</p> <p>4.4 ●野茂英雄が大リーグ2度目のノ ーヒット・ノーラン達成</p> <p>4.8 ●米タイガー・ウッズがマスター ズで史上初のメジャー4連覇</p> <p>4.14 ●歌手・三波春夫死去</p> <p>4.20 ●李登輝前台湾総裁にビザ発給、 来日</p> <p>4.25 ●水島そごう会長、資産隠し容 疑で逮捕</p> <p>4.26 ●小泉純一郎自民党総裁が第87 代首相に就任</p> <p>5.1 ●埼玉県の浦和・大宮・与野市が 合併、「さいたま市」誕生</p> <p>6.1 ●ネパール王宮で皇太子が銃乱 射、国王ら10数人が死亡</p> <p>6.8 ●大阪府池田小学校教室に刃物男 が乱入、児童8人刺殺</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>7.25～29 ●第10回世界女子選手権大会アジア地区予選開催（大阪府・舞洲ベースボールスタジアム／6か国）日本女子ナショナルチーム優勝</p> <p>8.3 ●ソフトボールクリニック2001in守山開催（滋賀県守山市）</p> <p>8.11～14 ●第1回全日本中学生男・女大会開催（大阪市舞洲運動広場）</p> <p>9.17 ●第56回国民体育大会（宮城国体）の抽選会、東京・岸記念体育会館で行われる</p> <p>9.22～25 ●第1回スポーツマスターズ2001開催（宮崎県日向市）</p>	<p>6.30～7.8 ●'01カナダカップ（カナダ・サレー市／9か国18チーム）日本女子ナショナルチーム優勝</p> <p>10.20～25 ●日韓ジュニアスポーツ交流事業（韓国・ソウル）、団長・藤森友義理事</p>	<p>7.16 ●国際オリンピック委員会会長にジャック・ロゲ（ベルギー）就任</p> <p>7.20 ●ジェノバ・サミット開幕</p> <p>7.21 ●兵庫県明石市で花火大会見物客が歩道橋で将棋倒し、死者11人</p> <p>8.4 ●北朝鮮の金正日総書記がロシアを公式訪問</p> <p>8.13 ●小泉首相、15日を避け靖国神社を参拝</p> <p>9.1 ●新宿歌舞伎町の雑居ビルで火災、44人死亡</p> <p>9.10 ●酪農家で乳牛が狂牛病に感染</p> <p>9.11 ●ニューヨークで同時多発テロ、死者不明5千人超</p> <p>9.15 ●ブッシュ米大統領、同時多発テロの主犯をウサマ・ビンラーディンと断定</p> <p>9.28 ●巨人軍長嶋茂雄監督が退任表明、後任は原辰徳ヘッドコーチ</p> <p>10.7 ●米軍、英軍とともにアフガンを空爆</p> <p>10.7 ●イチロー、大リーグで2冠</p> <p>10.11 ●炭疽菌テロ、米メディアや政府機関を狙う</p> <p>11.9 ●アフガニスタンの「北部同盟」カブールを制圧、タリバン政権崩壊</p> <p>11.12 ●イチロー、MVPと新人王をダブル受賞（史上2人目）</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
	<p>11.18～19 ●第20回 I S F 総会開催 (アメリカ・フロリダ州タンパ)、黒木幹夫会長、甲佐清久総務委員長、坂本繁ルール副委員長出席</p> <p>11.22～25 ●韓国ジュニアナショナルチームと日本の高校・中学の代表選手で、日韓合同研修合宿開催 (静岡県天城湯ヶ島町)</p>	<p>12.1 ●皇太子妃雅子さま内親王をご出産、敬宮愛子と命名</p> <p>12.19 ●東京都の「ホテル税」条例が可決、成立</p> <p>12.22 ●海上保安庁国籍不明の逃走不審船に射撃、沈没</p>
<p>2002年 (平成14年)</p> <p>2.23 ●平成14～15年度会長に山h拓氏、専務理事に尾h正則氏が就任</p> <p>3.22 ●報道関係懇談会 (静岡県天城湯ヶ島町)</p> <p>4.1 ●個人登録料徴収制度の実施 (監督・コーチ・選手)</p> <p>4.1 ●全国大会にエルデストを新設実施 (50歳以上の女子)</p>	<p>1.20～30 ●日本女子ナショナルチーム、台湾合宿</p> <p>2.13～25 ●日本男子ナショナルチーム、ニュージーランド (オークランド・ウエリントン・ネルソン) 遠征</p> <p>2.15～26 ●日本女子ナショナルチーム、オーストラリア・メルボルン遠征</p> <p>3.24 ●日本女子ナショナルチーム、第13回ユネスコ国際フェアプレー賞広報部門奨励賞 (ドイツ・フランクフルト)、井上三春強化本部長出席</p>	<p>1.1 ●欧州12か国、ユーロの現金流通を一斉に開始</p> <p>1.15 ●三和、東海銀行が合併、「U F J」銀行に</p> <p>1.20 ●小泉首相、田中真紀子外相と野上義二外務次官を更迭</p> <p>1.21 ●アフガニスタン復興支援会議、東京で開催</p> <p>2.1 ●川口順子環境相、外相に就任</p> <p>2.8 ●第19回ソルトレーク冬季五輪開幕。日本銀1、銅1</p> <p>2.17 ●第52回ベルリン国際映画賞で宮崎駿監督「千と千尋の神隠し」が金熊賞受賞</p> <p>2.18 ●ブッシュ米大統領初来日</p> <p>2.22 ●牛肉偽装事件の雪印食品、会社解散</p> <p>3.18 ●鹿児島市の本郷かまとさん、114歳でギネスブックの世界最高齢女性に</p> <p>3.20 ●社民党辻元清美衆院議員、秘書給与不正受給疑惑で辞任</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>4.1 ●全種別に8回からタイブレーカーを採用実施</p> <p>4.1 ●女子の投球距離(投手板から本塁までの距離)を43フィート(12・19メートル)に変更実施(リーグ・総合・実業団・クラブ・大学・国体成年女子に適用)</p> <p>4.21 ●高知県協会、日本協会から除名、新たに高知ソフトボール連盟発足</p> <p>6.13～15 ●2002 I S F 国際審判員認定講習会(静岡天城湯ヶ島町)</p> <p>7.4 ～7 ●日本女子育成チーム選考強化合宿(静岡県天城湯ヶ島町)</p> <p>8.30～9.1 ●2002ジャパンカップ開催(神奈川県横浜市／4か国)日本女子ナショナルチーム準優勝</p>	<p>7.26～8.4 ●第10回世界女子選手権大会(カナダ・サスカトゥーン／16か国)日本女子ナショナルチーム準優勝</p> <p>8.27～9.1 ●2002日韓ジュニアスポーツ交流事業(韓国・釜山)</p>	<p>4.8 ●加藤紘一元自民党幹事長が政治資金流用疑惑で議員辞職</p> <p>4.13 ●学校5日制、スタート</p> <p>4.18 ●アフガン国王、29年ぶり亡命先のイタリアから帰国</p> <p>5.1 ●脱税で、野村沙知代被告に有罪判決</p> <p>5.8 ●北朝鮮の一家5人、中国・瀋陽市の日本総領事館に駆け込み亡命図る</p> <p>5.13 ●トヨタ、経常利益1兆円突破</p> <p>5.16 ●落語家・柳家小さん(人間国宝)死去</p> <p>5.21 ●川奈ホテルが倒産、負債総額670億円</p> <p>5.31 ●2002サッカー・ワールドカップ開幕(日本・韓国共催)</p> <p>6.4 ●日韓で共同開催されたサッカーワールドカップで、日本が決勝トーナメント(ベスト16)に進出</p> <p>6.19 ●あっせん収賄容疑で鈴木宗男衆院議員逮捕</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>10.18～20 ●第1回全日本エルデスト大会開催（東京都・柴又野球場）</p> <p>11.16～21 ●日韓ジュニアスポーツ交流事業、全日本中学生・高校生合同研修合宿（静岡県天城湯ヶ島町）</p> <p>11.24 ●寄付行為検討委員会・表彰推薦委員会設置</p>	<p>9.30～10.6 ●第14回アジア競技大会（韓国・釜山／6か国）日本女子ナショナルチーム優勝</p> <p>12.21～23 ●アジア連盟総会（台湾・台北市）、甲佐清久副会長、尾h正則専務理事、笹田嘉雄総務委員長出席</p> <p>12.23 ●山崎拓会長、アジア連盟第一副会長に就任</p>	<p>9.17 ●小泉首相北朝鮮を訪問し金正日総書記と会談、日朝平壤宣言に署名</p> <p>10.8 ●東大名誉教授の小柴昌俊氏が「素粒子ニュートリノの観測」でノーベル物理学賞</p> <p>10.9 ●島津製作所研究者の田中耕一氏が「タンパク質解析技術の開発」でノーベル化学賞</p> <p>10.12 ●インドネシア・バリ島のディスコが爆弾テロ、日本人2人を含む約190人が死亡</p> <p>10.15 ●北朝鮮拉致被害者5人、24年ぶりに帰国</p> <p>11.8 ●胡錦濤氏が中国総書記に</p> <p>11.27 ●イラクの大量破壊開発疑惑で、国連査察が4年ぶりに再開</p> <p>12.11 ●和歌山地裁、毒物カレー事件の林真須美被告に死刑判決</p>
<p>2003年（平成15年）</p>	<p>1.23～2.1 ●日本男子ジュニアナショナルチーム海外強化遠征（オーストラリア・ブラックタウン）</p>	<p>2. ●香港、ベトナムで新型肺炎（SARS）の患者が発生。世界30か国に拡大し、感染者8000人以上、死者700人</p> <p>2.1 ●米スペースシャトル「コロンビア」が帰還直前空中分解、乗員7人全員死亡</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>2.23 ●ドクター委員会内にアンチ・ドーピング部会を設置</p> <p>3.24 ●報道記者懇談会 開催（静岡県天城湯ヶ島町）</p> <p>3.24 ●文部科学省「国際競技大会優秀者表彰」に日本女子ナショナルチーム</p> <p>4.1 ●「DP／指名選手」制を採用</p> <p>4.1 ●各地区広報研修会、関東地区でスタート（東京）</p> <p>4.23 ●宇津木妙子全日本監督が「2002ミズノスポーツメントール賞・ゴールド」を受賞</p> <p>6.27 ●日本男・女リーグ所属チームを対象に「アンチ・ドーピング活動に関する説明会」を開催（東京）（7.4 大阪）</p>	<p>2.15～24 ●日本男子ナショナルチーム海外強化遠征（ニュージーランド・オークランド・クライストチャーチ）</p> <p>7.31～8.11 ●日本女子ナショナルチーム第1次海外強化合宿（イタリア・メッシーナ、ギリシャ・アテネ）</p> <p>9.1～7 ●日韓ジュニアスポーツ交流事業2003（韓国・ソウル）</p>	<p>3.20 ●米英軍、イラク戦争を開始</p> <p>5.1 ●ブッシュ米大統領、イラク戦争の終結を宣言</p> <p>5.17 ●りそな銀行へ2兆円の公的資金を投入、足利銀行は国有化</p> <p>5.23 ●個人情報保護法が成立</p> <p>6.6 ●有事関連法が成立</p> <p>7 ●長崎男児殺害など、少年の重大事件相次ぐ</p> <p>7.26 ●イラク復興支援特措法成立、自衛隊派遣へ</p> <p>9.20 ●自民党総裁に小泉純一郎首相が再選、中曽根・宮沢元首相が引退</p> <p>10.16 ●ニューヨーク・ヤンキースの松井秀喜、全大リーグ最多の181試合に出場し、2割8分7厘・16本塁打・106打点の成績で地区優勝に貢献</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>10.26 ●静岡国体でドーピング検査導入</p> <p>10.26～29 ●静岡国体少年男子を天皇・皇后両陛下がご観戦</p> <p>11.8～13 ●日韓ジュニアスポーツ交流事業、全日本中学生・高校生合同合宿（静岡県天城湯ヶ島町）</p> <p>11.9 ●日本女子リーグ 決勝トーナメントでドーピング検査</p> <p>11.28～30 ●2003ジャパンカップ開催（神奈川県横浜市／3か国）日本女子ナショナルチーム優勝</p> <p>12.13 ●第1回用具メーカー懇談会開催（東京）</p>	<p>10.12～20 ●第7回世界女子ジュニア選手権大会（中国・南京／14か国）日本ジュニアナショナルチーム優勝</p> <p>●第21回ISF総会を中国・南京で開催</p> <p>11.29～12.3 ●第7回アジア男子選手権大会開催（フィリピン・マニラ／8か国）日本ナショナルチーム優勝</p>	<p>11.9 ●衆院選で民主躍進、二大政党時代へ</p> <p>11.29 ●邦人外交官2人がイラクで殺害</p>
<p>2004年（平成16年）</p>	<p>1.29～2.8 ●第11回世界男子選手権大会開催（ニュージーランド・クライストチャーチ／15か国）日本ナショナルチーム第5位</p>	<p>1.11 ●京都府の養鶏生産組合が卵5万個を虚偽の採卵日にして出荷していたことが判明</p> <p>1.15 ●芥川賞に、史上最年少の19歳・20歳の女性二人</p> <p>1.16 ●陸上自衛隊の先遣隊約30人がイラクのサマワに向け出発</p> <p>1.22 ●航空自衛隊本隊の第一陣がクウェートへ出発</p> <p>2.1 ●イラク北部のクルド人自治区で自爆テロ、109人死亡</p> <p>2.13 ●韓国国会、イラクに兵士3,000人の追加派兵を可決</p> <p>2.27 ●京都府丹波町の養鶏場で鳥2万8,000羽が死に、鳥インフルエンザの陽性反応</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>2.29 ●平成16～17年度 会長に山h拓氏、専務理事に尾h正則氏が再任</p> <p>3.21 ●加藤宗司氏、I S F 殿堂入り伝達式(広島県・呉市) I S F からDr. ステイブン・ファンアジア地区副会長が来日</p> <p>3.21 ●全国高校女子選抜大会が、J O C の「選手強化事業ジュニア対策の一環として「J O C ジュニアオリンピックカップ」として開催</p> <p>4.24 ●日本男子リーグが1部・2部制から東日本・西日本の地区制に変更され、決勝トーナメントによる最終順位決定方式を採用</p> <p>4.29 ●黒木幹夫名誉会長が旭日中綬章を受章</p> <p>5.13 ●アテネ五輪女子日本代表15名発表記者会見(赤坂プリンスホテル)</p> <p>5.13 ●東京運動記者クラブソフトボール分科会設立される</p>	<p>3.19～29 ●ナショナルBチーム(U23)、ニュージーランド遠征「3か国対抗」で優勝</p> <p>5.27～30 ●第3回アジア女子ジュニア選手権大会(韓国・仁川/5か国)ジュニア女子日本代表優勝</p>	<p>2.29 ●米アカデミー賞で「ロード・オブ・ザ・リング王の帰還」が11部門を制覇</p> <p>3.4 ●アテネ五輪野球監督の長嶋茂雄氏が脳梗塞で緊急入院</p> <p>3.13 ●九州新幹線、鹿児島中央と新八代間で開通</p> <p>3.20 ●俳優・いかりや長介死去(72歳)</p> <p>3.24 ●三菱ふそうトラック・バスが、タイヤ脱落で11万2000台について国土交通省にリコール届け</p> <p>3.27 ●フィギュアスケート世界選手権で、荒川静香が優勝</p> <p>4.1 ●消費税込みの価格表示を義務付ける「総額表示価格」がスタート</p> <p>4.15 ●イラクの武装組織が日本人3名を1週間拘束後、釈放</p> <p>5.1 ●欧州連合(EU)にポーランド、ハンガリー、チェコ等、東欧諸国を中心とした10カ国が新加盟し、25カ国に拡大</p> <p>5.7 ●7閣僚を含む国会議員119人に国民年金の未納期間があることが判明。福田康夫官房長官、菅直人民主党代表が辞任</p> <p>5.28 ●イラクで移動中に襲撃された戦場ジャーナリストの橋田信介氏と小川功太郎氏が死亡</p> <p>6.1 ●佐世保市立大久保小学校内で、6年生女子が同級生の首をカッターで切り殺害</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>7.17・18 ●アテネ・オリンピック壮行試合開催（宮城県仙台市）イタリア代表と対戦</p> <p>8.2 ●全国支部長会議開催</p> <p>8.7～9 ●第1回全日本一般男子大会開催（東京都大田区）</p> <p>10.17 ●女子日本代表の宇津木妙子ヘッドコーチが契約期間満了をもって勇退。新たに井川英福氏がヘッドコーチに就任</p> <p>11.12～15 ●全国女子ジュニア育成中央研修会（NTS）を実施（静岡県伊豆市）</p>	<p>7.3～11 ●'04カナダカップ（カナダ・サレー／6か国16チーム）女子日本代表優勝、女子U23日本代表第3位</p> <p>8.13～23 ●アテネ五輪（アテネ・ギリシャ／8か国）女子日本代表銅メダル</p> <p>10.26～31 ●第1回世界女子大学選手権大会（アメリカ・プラントシティ／8か国）大学女子日本代表第3位</p> <p>12.12～18 ●第8回アジア女子選手権大会（フィリピン・マニラ／12か国）女子日本代表優勝、第11回世界女子選手権大会、'06ドーハ・アジア大会出場権獲得</p>	<p>7.12 ●白骨温泉の公共野天風呂や旅館が入浴剤で湯を白濁させていたと発覚</p> <p>7.13～18 ●新潟～福島で集中豪雨、15人が死亡。直後に福井も被災し、県に2億円の当選宝くじが匿名寄付（7.23）</p> <p>9.18～19 ●近鉄とオリックスの合併問題で経営者側（NPB）と選手会側が対立。プロ野球史上初のストライキで全試合中止</p> <p>10.23 ●新潟県中越地震が発生。地震計観測初の震度7を計測、史上初めて新幹線が脱線。死者36名</p> <p>11.1 ●20年振りに紙幣のデザイン変更。五千円札が新渡戸稲造から樋口一葉に、千円札は夏目漱石から野口英世に</p> <p>11.3 ●田臥勇太、フェニックス・サンズの選手として日本人初のNBAプレーヤーに</p> <p>12.26 ●スマトラ島沖でM9の巨大地震。インド洋大津波により、インドネシアを中心とした13カ国で日本人を含む約30万人が死亡・行方不明に</p>
<p>2005年（平成17年）</p> <p>3.24 ●日ソ協・尾h正則専務理事がJOC（財団法人日本オリンピック委員会）理事に就任</p> <p>3.26～29 ●第1回都道府県対抗全日本中学生男子・女子大会開催（静岡県掛川市）</p>	<p>2.3～6 ●パシフィック男子国際大会（ニュージーランド・ロトルア／4か国5チーム）男子日本代表準優勝</p> <p>3.25～27 ●グランプリシリーズ（オーストラリア・シドニー／3か国7チーム）女子日本代表優勝</p> <p>3.29～30 ●インターナショナルシリーズ（オーストラリア・シドニー／3か国4チーム）女子日本代表優勝</p>	<p>2.1 ●4年5ヵ月振りに三宅島の全島避難が解除</p> <p>2.8 ●ライブドアがニッポン放送の買収を巡り、フジ産経グループとTOB戦を展開（～4.18）</p> <p>2.16 ●アメリカが離脱したまま、京都議定書発効</p> <p>3.20 ●福岡西方沖で震度6弱（M7.0）の大地震。1,137人が避難</p> <p>3.25 ●愛知万博「愛・地球博」開催（～9.25）</p> <p>3.29 ●昨年末に続き、インドネシア・スマトラ沖でM8.7の大地震。ニアス島などで千人を超す死者</p> <p>4.3 ●ローマ法王ヨハネパウロ2世・死去（84歳）</p> <p>4.25 ●兵庫県尼崎市のJR福知山線で快速電車が脱線してマンションに激突。107人死亡、460人負傷</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>7.20 ●「公認スポーツ指導者制度」の改定に伴い、「ソフトボール指導教本」をリニューアルし、発行</p> <p>8.2～5 ●国際強化試合（神奈川県厚木市）オーストラリア代表を招き、女子U23日本代表、大学女子日本代表と強化試合を実施</p> <p>8.3～4 ●日米インターナショナルマッチ in 仙台開催（宮城県仙台市）アメリカ代表と3試合を行う</p> <p>9.8～10 ●新カテゴリーとなる男子U23日本代表選考会を実施（静岡県伊豆市）</p> <p>9.29 ●平成17年度第5回理事会で平成18年度から「ハイシニア大会」（男子65歳以上、投球距離12.19m）の開催を決定</p>	<p>6.24～7.3 ●第7回世界男子ジュニア選手権大会（カナダ・プリンスエドワード島／9か国）ジュニア男子日本代表準優勝</p> <p>7.2～10 ●'05カナダカップ（カナダ・サレー／7か国17チーム）女子U23日本代表5位</p> <p>7.8 ●IOC（国際オリンピック委員会）総会で野球・ソフトボールのロンドン五輪での競技除外決定</p> <p>7.14～18 ●World cup of softball（アメリカ・オクラホマシティ／5か国）女子日本代表優勝</p> <p>7.29～31 ●2005 JAPAN CUP 国際女子ソフトボール大会 in 横浜（神奈川県横浜市／4か国）女子日本代表優勝</p> <p>9. ●第17回アジア連盟総会（マレーシア・クアラルンプール）甲佐清久副会長、尾h正則専務理事、笹田嘉雄常務理事出席</p>	<p>5.17 ●長者番付で史上初めてサラリーマンが全国一位に</p> <p>5.21 ●イチロー、日米通算2000本安打達成</p> <p>5.30 ●二子山親方・死去（55歳）</p> <p>6.1 ●地球温暖化防止につなげる「クール・ビズ」を政府が提唱</p> <p>6.9 ●サッカー日本代表がアジア予選通過。2006ドイツW杯出場に一番乗り</p> <p>6.27 ●野茂英雄投手が日米通算201勝を記録。のちに戦力外通告（7.16）</p> <p>6.29 ●クボタなどアスベスト（石綿）製品工場20社で健康被害。79年以降で277人の死亡例</p> <p>7.7 ●サミット開催中にロンドンで地下鉄同時爆破テロ発生。死者55人、負傷者約700人</p> <p>7.14 ●知床が世界自然遺産に登録</p> <p>7.23 ●都内で震度5強（M6.0）の地震が発生。鉄道・地下鉄等が一時全面運行停止に</p> <p>7.23 ●エジプトのリゾート地シャルムエルシェイクで同時爆弾テロ。外国人観光客を含む89人が死亡</p> <p>7.26 ●米で2年半振りにスペースシャトル飛行再開。野口聡一さん搭乗（～8.9）</p> <p>8.24 ●旧常磐新線が「つくばエクスプレス」として開業。</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>11. 25～28 ●2005NTS 全国ジュニア女子育成中央研修会を実施。「指導マニュアル」と、その指導ポイントを具体的・視覚的にとらえさせるためのDVDを活用した指導・研修を実施</p> <p>12. 3 ●日ソ協選手強化本部会は、従来の女子U23のカテゴリーをB強化、ジュニア男女をU19とカテゴリー変更することを決定</p> <p>12. 18 ●五輪除外問題検討委員会を実施</p>	<p>10. 27～31 ●第22回ISF（国際ソフトボール連盟）総会（台湾・高雄）で役員改選が行われ、日ソ協・尾h正則専務理事がISFアジア地区副会長に就任。三宅豊、宇津木妙子両理事のISF殿堂入りが決定</p> <p>12. 12～14 ●第3回アジア男子ジュニア選手権大会（マレーシア・クアラルンプール／5か国）新島学園高（群馬）優勝</p>	<p>11. 15 ●紀宮清子さま、黒田慶樹さんと結婚</p> <p>11. 18 ●姉歯物件などの耐震強度偽造問題が発覚</p>
<p>2006年（平成18年）</p> <p>1. 30～2. 3 ●女子日本代表・B強化選手個人トレーニングキャンプをJISS（国立スポーツ科学センター／東京・赤羽）で実施</p> <p>2. 1 ●スコアリングマニュアル初版発行</p> <p>2. 26 ●平成18～19年度会長に山h拓氏、専務理事に尾h正則氏が再任</p>	<p>2. 9 ●イタリア・トリノで開催されたIOC（国際オリンピック委員会）総会で、野球・ソフトボール両競技の五輪競技への復帰が検討されたが、再投票へ持ち込めず、ロンドン五輪では両競技は実施されることが決定</p> <p>1. 30～2. 10 ●男子日本代表海外遠征、ブラザーパトリック大会に出場（ニュージーランド・オークランド）第4位</p> <p>1. 31～2. 9 ●男子U23日本代表海外遠征、ブラザーパトリック大会に出場、（ニュージーランド・オークランド）第5位</p> <p>2. 6～16 ●女子U19代表海外遠征、グランプリシリーズに出場（オーストラリア・メルボルン／7チーム）第4位</p> <p>3. 15～24 ●女子代表海外強化遠征（オーストラリア・シドニー）</p>	<p>1. 16 ●ライブドア、証券取引法違反容疑で強制捜査。のちに堀江元社長ら幹部を逮捕</p> <p>2. 10 ●トリノ冬季オリンピック開催（～26）。女子フィギュアスケートで荒川静香が金メダル</p> <p>3. 21 ●WBCで野球日本代表が初代世界一に</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>4.1 ●第1回小学校組織設立準備委員会開催される</p> <p>4.18 ●日本女子リーグ機構総会・理事会開催される。会長に山崎拓、副会長に藤森友義と太陽誘電の武田芳信の各氏が就任</p> <p>4.21～23 ●世界女子大学選手権の選手選考会を実施（伊豆市）</p> <p>4.28 ●日本女子リーグ3部が2部リーグに統合される</p> <p>5.3～6 ●2006パシフィック男子国際大会開催（仙台／ニュージールランド、サモア、オーストラリア／4か国）男子日本代表準優勝</p> <p>5.17 ●2016五輪、国内立候補都市選定委員に山崎拓会長、招致テクニカルディレクターに尾h正則専務理事を推薦</p> <p>5.17 ●情報戦略活動の充実のため専任情報・科学スタッフが設置される</p> <p>5.18 ●第11回世界女子選手権大会代表17名を発表</p> <p>7.9 ●公式記録員規定第3条を改定、認定委員会と認定方法がより明確化</p> <p>7.9 ●審判用靴の白とシルバーラインが承認される</p> <p>8.14 ●報道記者懇談会が開催され、13社30名参加（伊豆市）</p> <p>8.22 ●第11回世界女子選手権日本代表団壮行会開催（東京）</p>	<p>7.1～9 ●2006カナダカップ（カナダ・サレー／8か国16チーム）女子日本B代表4位</p> <p>7.13～17 ●第2回USAワールドカップ（アメリカ・オクラホマシティ／6か国）女子日本代表準優勝</p> <p>7.15～23 ●第2回世界大学女子選手権大会（台湾・台南／6か国）大学女子日本代表第3位</p> <p>8.27～9.5 ●第11回世界女子選手権大会（中国・北京／16か国）女子日本代表準優勝、北京オリンピック出場権獲得</p> <p>9.4～9 ●日韓ジュニアスポーツ交流事業実施・佐賀女子短大付属佐賀女子高を派遣（韓国ソウル）</p>	<p>5.17 ●インドネシアジャワ島でM6.3の地震が発生</p> <p>8.24 ●冥王星を太陽系惑星から格下げ</p> <p>9.6 ●秋篠宮家に悠仁親王ご誕生</p> <p>9.26 ●小泉純一郎首相が退任し、第90代首相に安倍晋三氏が就任</p> <p>10.9 ●北朝鮮が地下核実験を行う</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>10.13～15 ●第1回全日本ハイシニア大会開催(徳島市)</p> <p>10.24 ●2006ジャパンカップ代表選手17名正式発表(東京・岸体)</p> <p>10.27～30 ●ISF国際審判員認定講習会実施日本19名参加(北九州市)</p> <p>11.2～5 ●第8回アジア男子選手権開催(北九州市/8か国)日本男子ナショナルチーム優勝、4連覇達成・第12回世界選手権出場権獲得</p> <p>11.17～19 ●2006ジャパンカップ開催(横浜市/米・蘭・中)日本準優勝</p> <p>11.20～23 ●女子B代表、女子U19日本代表強化合宿を実施(伊豆市)</p> <p>11.23 ●第6回理事会で「小学生委員会」及び「ジュニア育成基金・選手強化基金」の設立承認</p> <p>11.23～26 ●平成18年度全国女子ジュニア育成中央研修会実施(伊豆市)</p> <p>12.25 ●女子日本代表ヘッドコーチに斉藤春香氏(日立ソフトウェア)が就任</p>	<p>12.10～14 ●第15回アジア競技大会(カタール・ドーハ/5か国)女子日本代表優勝</p> <p>12.21～22 ●第18回アジア連盟総会開催(マレーシア・クアラランブール)甲佐清久副会長、尾h正則専務理事が出席</p>	<p>11.7 ●アメリカ中間選挙で野党民主党が大勝</p> <p>12.30 ●フセイン元イラク大統領の死刑執行</p>
<p>2007年(平成19年)</p> <p>1.26 ●男子全日本代表のメディカル・フィットネスチェック実施(JISS)</p> <p>2.4 ●シニア大会の投球距離が19年度から</p>		<p>1.21 ●官製談合問題の宮崎県新知事にそのまんま東氏(東国原英夫)が初当選</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>13.11mに決定</p> <p>2.5～9 ●女子個人トレーニング合宿実施(エリートA/ユースエリート/日本代表/B強化選手)(JISS)</p> <p>2.25 ●第11回世界女子選手権・第15回アジア女子選手権代表選手団の祝勝会開催(東京)</p> <p>3.2 ●女子日本代表コーチに浦野光史氏と田本博子氏が決定</p> <p>3.5～10 ●女子日本代表A・B選手選考会実施(沖縄・嘉手納町)</p> <p>2.5～8 ●女子ジュニア日本代表第1次強化合宿(豊田市)</p> <p>3.20 ●尾h正則専務理事がJOC理事に再任</p> <p>4.15●第24回ユニバーシアード女子代表のコーチングスタッフ決定(久保田豊司氏・大阪国際大、舟山健一氏・東北福祉大、木田京子氏・園田学園女子大)</p> <p>●女子B代表のヘッドコーチに亀井月子氏が就任</p> <p>4.20～22 ●第24回ユニバーシアード代表選考会・選手17名決定(伊豆市)</p> <p>4.27～30 ●ISF第1回男子ワールドカップ選考会・代表17名決定(伊豆市)</p> <p>5.17 ●第1回アメリカンチャレンジシリーズ代表選考会(大学選抜)</p> <p>6.17 ●日ソ協、平成18年度JOCスポーツ賞特別貢献賞を受賞(東京)</p>	<p>6.18～24 ●第1回ISF男子ワールドカップ開催(チェコ・プラハ/5か国9チーム)男子日本代表優勝</p> <p>6.20～30 ●第8回世界女子ジュニア選手権大会開催(オランダ・エンスヘーデ/16か国)女子U19日本代表準優勝</p>	<p>4.3 ●消えた年金問題が噴出。5000万件の記録漏れが判明</p> <p>4.24 ●ロシアのエリツィン前大統領が心臓疾患のため死去(76歳)</p> <p>5.10 ●親が育てられない新生児を匿名で預かる国内初の『赤ちゃんポスト』が熊本市の慈恵病院で運用を開始</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>9. 26 ●女子日本代表17名・同B代表20名、男子日本代表(強化指定選手)、男子2007パシフィック大会スタッフ・選手決定</p> <p>11. 10 ●決勝トーナメント会場に「ソフトボール環境標語」の横断幕を掲出</p> <p>11. 16～18 ●2007ジャパンカップ開催(横浜市/米・中・豪)日本準優勝</p> <p>11. 23～25 ●男子U19代表選手選考会(内定17名/伊豆市)</p> <p>11. 23 ●山田恵里・坂井寛子選手、東京オリンピック招致ふるさと特使に</p> <p>11. 23 ●チーム登録規定第5条の1部改正(小学生チームの登録期限の変更)</p>	<p>7. 12～16 ●第3回USAワールドカップ開催(アメリカ・オクラホマシティ/6か国)女子日本代表準優勝</p> <p>7. 13～15 ●第1回アメリカンチャレンジシリーズ開催(アメリカ・オクラホマシティ/3か国)大学男子選抜準優勝</p> <p>8. 11～17 ●第24回ユニバーシアード競技大会(タイ・バンコク/10か国)大学女子日本代表銅メダル</p> <p>8. 19～23 ●第9回アジア女子選手権大会(インドネシア・ジャカルタ/10か国)女子日本代表優勝、第12回世界選手権出場権獲得</p> <p>8. 19～22 ●アジア連盟理事会開催(インドネシア・ジャカルタ)尾h正則専務理事出席</p> <p>10. 24～27 ●第23回ISF総会開催(フィリピン・マニラ)、甲佐清久副会長、尾h正則専務理事、宇津木妙子常務理事、加藤謙蔵常務理事出席。同総会で黒木幹夫名誉会長のISF殿堂入りが決定</p> <p>11. 16～18 ●第2回香港カップ男子トーナメント開催(中国・香港/4か国5チーム)大阪ツツキグローバル優勝</p>	<p>7. 16 ●新潟県中越沖でM6.8の地震が発生、柏崎刈羽原発でトラブル</p> <p>7. 29 ●第21回参院選で民主党が第1党に。予党は過半数われ</p> <p>8. 1 ●横綱朝青龍に2場所出場停止処分</p> <p>8. 16 ●日本列島が74年ぶりの猛暑に見舞われる。熊谷・多治見で40.9度の観測史上最高気温</p> <p>8. ●アメリカのサブプライムローンの影響で国際金融市場に大きな変動が生じる</p> <p>9. 9 ●陸上の男子100メートルでパウエル(ジャマイカ)が9秒74の世界記録を樹立</p> <p>9. 12 ●安倍晋三首相が突然の辞意表明、福田康夫氏が第91代首相に就任</p> <p>9. 27 ●ミャンマーでデモ取材中のジャーナリスト長井健司氏が銃撃され、死亡</p> <p>10. 1 ●日本郵政公社が「日本郵政グループ」に再生され、民営郵政がスタート</p> <p>10. 1 ●ボクシングの亀田大毅が対内藤大助戦で反則を繰り返し、非難集中</p> <p>10. 28 ●R・ソックスの松坂大輔・岡島秀樹両投手がWシリーズ制覇に貢献</p> <p>11. 1 ●テロ特措法が失効し、インド洋で活動中の海上自衛隊の撤収が決定</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>11.23 ●平成23年度からエルダー大会を廃止し、日本マスターズ大会と一本化</p> <p>11.29 ●平成19年度女子ジュニア育成中央研修会（伊豆市）</p>	<p>1</p> <p>2.5～8 ●2007パシフィックインターナショナルメンズシリーズ開催（オーストラリア・キャンベラ／3か国4チーム）男子日本代表第4位</p>	<p>11.28 ●防衛省事務次官と業者による汚職事件が発覚</p>
<p>2008年（平成20年）</p> <p>2.1 ●「オフィシャルソフトボールルールケースブック」改訂第4版発行</p> <p>2.3 ●第8回理事会で「Back Softball」運動が承認される</p> <p>2.3 ●女子日本代表チームスポンサーに佐川急便が決まる</p> <p>2.9～11 ●19年度全国審判員・記録員中央研修会（34年間にわたる岐阜県開催が本年度で最後となる）</p> <p>2.24 ●平成20～21年度会長に山h拓氏、専務理事に尾h正則氏が再任</p> <p>3.7～9 ●平成20年度日本女子リーグ担当審判員研修会実施（伊豆市）</p> <p>3.27～29 ●第1回春季全日本小学生男女大会開催（男子：熊本県八代市、女子：静岡県伊豆市）</p> <p>4.14 ●北京オリンピック代表選手15名発表及び新ユニフォームの披露（東京）</p>	<p>1.20～29 ●男子U19日本代表第1次海外強化合宿実施（ニュージーランド・オークランド）</p>	<p>2. ●中国から輸入された冷凍餃子の一部から農薬が検出される</p> <p>2.19 ●千葉県野島崎沖で海上自衛隊のイージス艦と漁船が衝突事故</p> <p>3.14 ●スペースシャトル「エンデバー号」が国際宇宙ステーションとドッキング。土井宇宙飛行士により日本実験棟「きぼう」の船内保管室の取付けに成功</p> <p>3.24 ●ギリシャで開催した北京五輪聖火採火式典中、チベット問題に抗議して男が乱入。以後各国の聖火リレーで混乱が生じる</p> <p>4.1 ●医療費の増大に対処するための新医療制度が波乱のスタート</p> <p>4.17 ●ゴルファーの石川遼（16歳）が男子プロツアーデビュー（5位）</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>7.25～27 ●北京オリンピック壮行試合開催(仙台市) オランダ・カナダと対戦</p> <p>9.1 ●北京オリンピック金メダルの女子代表チームへの報奨金が決定</p> <p>9.1 ●イエローボールの検定基準承認。2009年度から導入</p> <p>10.22 ● Back Softballの各種キャンペーン始まる</p> <p>11.1～3 ●男子日本代表チーム選手選考会実施(伊豆市)</p> <p>11.18 ●女子日本代表チーム紫綬褒章を受章</p> <p>11.6 ●M. スミス選手(豊田自動織機)現役引退を表明</p>	<p>6.20～29 ●第8回世界男子ジュニア選手権(カナダ・ホワイトホース/12か国) ジュニア男子日本代表3位</p> <p>7.7～20 ●海外強化試合/トライネーションズカップ・カナダカップ(カナダ・トロント/3か国) 女子日本代表両大会優勝</p> <p>8.12～21 ●北京五輪(中国・北京/8か国) 女子日本代表金メダル</p> <p>12.18～20 ●第19回アジア連盟総会開催(韓国・ソウル) 尾h正則専務理事・甲佐清久日ソ協顧問出席</p>	<p>5.2 ●ミャンマーでサイクロン被害、死者・不明者13万人超</p> <p>6.12 ●中国四川でM7.9の大地震が発生、被災者1千万人超</p> <p>6.14 ●岩手・宮城県でM6.8の地震</p> <p>7.7 ●第34回主要国首脳会議(洞爺湖サミット)開催</p> <p>9.15 ●米証券大手リーマンが破たん。金融危機が世界に波及</p> <p>9.24 ●福田首相が辞意表明、麻生太郎氏が第92代首相に就任</p> <p>10.27 ●東証、バブル後最安値。82年10月以来の低水準に</p> <p>11.4 ●米大統領選で民主党のオバマ氏勝利</p> <p>11.26 ●インドのムンバイで同時テロ、163人犠牲</p> <p>12.10 ●ノーベル物理学賞に南部陽一郎氏・小林誠氏・益川敏英氏の3名と科学賞に下村脩氏が同時受賞</p>
<p>2009年(平成21年)</p> <p>2.2 ●オリンピック競技復帰を願い、厚木市がJOCに活動要請</p> <p>2.7～8 ●20年度全国指導者中央研修会開催(東京・港区)</p>		<p>1.20 ●オバマ米政権が発足。大統領が「核なき世界」でノーベル平和賞</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>2.6～8 ●20年度全国審判員・記録員中央研修会開催（愛知県東浦町）</p> <p>2.22 ●Back Softballのオフィシャルスローガン・ロゴマークが決定</p> <p>2.22 ●通訳のベンチ入りを外国人選手がいる場合に限り認める</p> <p>3.12～14 ●女子日本代表選手選考会実施。53名参加</p> <p>4.11 ●Back Softballの2016のオフィシャルウェブサイト開設</p> <p>4.10～14 ●女子U16日本代表選手選考会実施（伊豆市）</p> <p>4.24～26 ●大学女子日本代表選手選考会実施（伊豆市）</p> <p>6.9～12 ●女子日本代表第1次強化合宿（伊豆市）</p> <p>7.31～8.2 ●2009ジャパンカップ開催（仙台市／米・台・豪）日本準優勝</p>	<p>7.16～20 ●第4回USAワールドカップ（アメリカ・オクラホマシティ／6か国）女子日本代表4位</p> <p>7.17～20 ●第8回ワールドゲームズ開催（台湾・高雄／6か国）女子大学日本代表優勝</p> <p>7.17～26 ●第12回世界男子選手権大会開催（カナダ・サスカトゥーン／16か国）男子日本代表5位</p> <p>8.9～16 ●ISFイーストン・ファンデーション・ユースワールドカップ開催（チェコ・プラハ／12か国）女子U16日本代表優勝</p>	<p>3.5 ●定額給付金支給がスタート</p> <p>3.23 ●野球日本代表「侍ジャパン」WBCで連覇</p> <p>3.28 ●ETC土休日・高速道「上限1000円」スタート</p> <p>5.9 ●新型インフルエンザ全世界で流行。日本でも初感染者確認</p> <p>5.21 ●裁判員制度始まる</p> <p>6.25 ●米歌手・マイケルジャクソン死去</p> <p>7.22 ●日本で46年ぶりの皆既日食</p> <p>8.1 ●若田光一さん帰還、宇宙に4か月半</p> <p>8.30 ●第45回衆院選で民主党圧勝。政権交代</p> <p>9.14 ●イチロー、大リーグ史上初の9年連続200本安打</p> <p>9.16 ●民主党・鳩山由紀夫氏、第93代首相に就任</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>9.23 ●高校女子の投球距離を23年度大会から13.11mに変更。理事会決定</p> <p>9.23 ●2012年のアジア男子選手権を岡山県新見市で開催が決定</p> <p>11.2～4 ●21年度女子U19代表選手選考会実施(伊豆市)</p> <p>11.7 ●内田清副会長死去(旭日双光章)</p> <p>11.27～29 ●女子U19第1次強化合宿(埼玉県・新座市)</p>	<p>10.21～25 ●第24回ISF総会開催(ベネズエラ・マルガリータ島)尾h正則専務理事、宇津木妙子常務理事出席。宇津木常務理事がISFアジア地区副会長に選出。西村信紀氏のISF殿堂入りが決定。2012年から世界選手権を2年ごとに開催。</p> <p>10.31 ●第3回世界大学女子選手権大会が2010年8月にイタリアで開催決定</p> <p>12.13～16 ●第4回アジア女子ジュニア選手権大会兼第9回世界女子ジュニア選手権アジア地区予選(マレーシア・クアラルンプール/9か国)女子U19日本代表優勝</p>	<p>10.3 ●2016年五輪、東京落選</p> <p>11.6 ●松井秀喜、ワールドシリーズで日本人初のMVP</p> <p>11.11～22 ●行政刷新会議の事業仕分けに国民注目</p>
<p>2010年(平成22年)</p> <p>2.1 ●スコアリングマニュアル改訂版発行</p> <p>2.28 ●学校体育ソフトボールプロジェクト発足</p> <p>2.28 ●平成22～23年度会長に山h拓氏再任、専務理事に笹田嘉雄氏が就任</p> <p>3.8～12 ●女子日本代表第2次国内強化合宿(宮崎市)</p>	<p>3.16～23 ●女子日本代表第1次海外強化合宿(オーストラリア・シドニー)</p>	<p>1.1 ●改正著作権法成立。違法コンテンツのダウンロードを禁止</p> <p>1.12 ●南米ハイチでM7.0の大地震。死者21万人超</p> <p>2.4 ●横綱朝青龍が現役を引退</p> <p>2.13 ●第21回バンクーバー冬季五輪開幕</p> <p>2.27 ●南米チリでM8.8の巨大地震。大津波が発生し日本沿岸にも被害。</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>4.9～11 ●男子U19日本代表選考会を伊豆市で実施</p> <p>4.10 ●第43回女子リーグ1部が西武ドームで開幕</p> <p>4.18 ●第12回世界女子選手権大会代表17名が決定</p> <p>4.23 ●第43回女子リーグ2部が新たにアドバンスセクションとホープセクションの各8チームに振り分けられ開幕</p> <p>8.6～8 ●2010ジャパンカップ開催(仙台市/米・台・日)日本準優勝</p> <p>8.7 ●ドン・ポーターISF会長来日、日ソ協理事と意見交換</p> <p>8.8 ●ドン・ポーターISF会長より、ISF名誉勲章がJOCの猪谷千春・岡野俊一郎両氏に贈られる</p>	<p>6.23～7.2 ●第12回世界女子選手権大会(ベネズエラ・カラカス/16か国)女子日本代表準優勝</p> <p>7.22～26 ●第5回USAワールドカップ(アメリカ・オクラホマシティ/3か国4チーム)女子日本代表準優勝</p>	<p>4. ●アイスランドのラキ火山爆発で各国の物流などに重大支障をきたす</p> <p>6.8 ●民主党・菅直人氏、第94代首相に就任</p> <p>6.13 ●日本の小惑星探査機「はやぶさ」7年の旅を終えて地球に帰還</p> <p>8.6 ●広島原爆平和記念式典に駐日米大使が初めて出席</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>9.23 ●「新学習指導要領対応・学校体育ソフトボール基本ルール」が作成される</p> <p>9.28 ●黒木幹夫名誉会長死去</p> <p>9.26～28 ●第65回千葉国体は悪天候のため各種別とも8チーム優勝</p> <p>11.5～10 ●2010日韓ジュニアスポーツ交流事業開催／伊豆市</p> <p>11.18～21 ●22年度全国女子ジュニア育成中央研修会開催（参加90名）／伊豆市</p> <p>12.14 ●日本プロ野球選手会のイベントに女子日本代表選手が参加、「学校体育ソフトボール」をPR</p>	<p>9.4～6 ●タイで実施された「SCA審判長セミナー」で鎌田審判委員長が国際審判員指導者に認定される</p> <p>11.19～26 ●第16回アジア競技大会（中国・広州／6か国）女子日本代表優勝</p> <p>12.13～16 ●第4回アジア男子ジュニア選手権（インド・ムンバイ／6か国）男子U19日本代表優勝</p>	<p>9.1 ●過去113年間で最も暑い気温を日本各地で観測／気象庁発表</p> <p>9.7 ●尖閣諸島沖で中国漁船が日本の巡視船に衝突</p> <p>10.6 ●ノーベル化学賞に根岸英一氏、鈴木章氏が同時受賞</p> <p>10.14 ●チリの鉱山落盤事故から70日ぶりに33人全員が奇跡の生還</p> <p>11.1 ●メドベージェフ露大統領が北方領土の国後島を視察</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>2011年（平成23年）</p> <p>2.6 ●第8回理事会で日体協・JOC100周年記念事業への寄付金を承認</p> <p>2.6 ●ホームページで動画配信事業を承認</p> <p>2.26 ●医事委員会・平成22年度アンチドーピング研修会開催／佐賀市</p> <p>3.19～30 ●東北地方太平洋沖地震により3月開催の6競技大会が中止となる</p> <p>4.1～11.30 ●被災者・被災地復興支援の義援金の受付け始まる</p> <p>4.1 ●日本協会ホームページで動画配信開始</p>	<p>1.23～28 ●南投インターナショナルトーナメント（台湾）NTS優秀選手17名出場優勝</p>	<p>1.6 ●大相撲不祥事で春場所が中止に</p> <p>1.23 ●無人宇宙船「コウノトリ」、種が島宇宙センターから打ち上げ成功</p> <p>2.25 ●ニュージーランドでM6.3の地震発生。日本の語学研修生多数が犠牲に</p> <p>3.11 ●東北地方太平洋沿岸部にM9.0の世界最大級の地震が発生。津波と福島第一原発事故により壊滅的な被害</p> <p>3.18 ●スカイツリー、「世界一」634mに到達</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>4.9～10 ●第44回女子リーグ1部、ナゴヤドームで開幕</p> <p>5.26 ●被災地へ用具・用品の支援物資を発送</p> <p>6.12 ●被災県協会に支援金を募ることが決定</p> <p>6.12 ●第10回アジア女子選手権代表17名決定</p> <p>7.3 ●第9回世界女子ジュニア選手権代表17名決定</p> <p>7.27～29 ●第1回学校体育ソフトボール全国指導者養成研修会開催／羽島市</p>	<p>6.13～18 ●ISF第2回男子ワールドカップ(チェコ・プラハ／4か国5チーム) 男子日本代表2連覇</p> <p>7.9～17 ●2011カナダカップ(カナダ・サレー／6か国11チーム)女子日本代表優勝</p> <p>7.21～25 ●2011USAワールドカップ(アメリカ・オクラホマシティ／6か国)女子日本代表準優勝</p> <p>7.29 ●台湾ソフトボール協会から東日本大震災で被災した中学生に500万円の支援金</p>	<p>5.11 ●東京で6億円強奪事件発生</p> <p>7.15～16 ●日本体育協会・日本オリンピック委員会創立100周年記念式典を開催</p> <p>7.17 ●サッカーW杯、「なでしこジャパン」世界一</p> <p>7.24 ●テレビ放送が地デジに移行</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>7.31 ●2011ジャパンカップ・メモリアルソフボールクリニック開催／仙台市</p>	<p>8.10 ●台湾女子ジュニアチーム来日、大阪・京都・滋賀の各選抜チームと親善・強化試合を行う／滋賀守山市</p> <p>9.21～27 ●第10回アジア女子選手権兼第13回世界女子選手権アジア地区予選（台湾・南投／13か国）女子日本代表優勝</p> <p>10.27～30 ●第25回ISF総会開催（アメリカ・オクラホマシティ）笹田嘉雄専務理事、宇津木妙子常務理事出席。</p> <p>12.7～17 ●第9回世界女子ジュニア選手権（南アフリカ・ケープタウン／16か国）女子U19日本代表準優勝</p>	<p>9.2 ●民主党・野田佳彦氏、第95代首相に就任</p> <p>10 ●タイで洪水被害、現地の多くの日系企業が操業停止に</p> <p>10.5 ●米アップル社のスティーブ・ジョブズ氏急逝</p> <p>10.17 ●北朝鮮の金正日総書記が死去</p> <p>10.31 ●世界人口が推計70億人突破</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>2012年（平成24年）</p> <p>1. ●前年8月～9月に行った支援金活動で女子日本代表・リーグ選手のグッズをネットオークション 落札金額115万9千円余となったことを理事会に報告</p> <p>10.8～10 ●第66回山口国体、天候に恵まれ成功裏に終了</p> <p>11.12～17 ●2011日韓ジュニアスポーツ交流事業開催／伊豆市</p> <p>11.17～20 ●平成23年度全国女子ジュニア育成中央研修会開催／伊豆市</p>	<p>1.15～18 ●2012南投女子ジュニア招待試合（台湾・南投）NTS優秀選手17名出場優勝</p> <p>3.15～25 ●女子日本代表・第1次海外強化合宿『インターナショナルソフトボールチャレンジ』に出場（豪・キャンベラ）</p> <p>6.15～17 ●第1回東アジアカップ（韓国大邱／日本・中国・韓国）女子大学日本代表チーム優勝</p> <p>7.4～9 ●2012カナディアンオープン（カナダ・サレー／7チーム）女子日本代表優勝</p> <p>7.13～22 ●第13回世界女子選手権大会（カナダ・ホワイトホース／16か国）女子日本代表優勝</p>	<p>5.22 ●東京スカイツリー開業（墨田区にある地上634mの電波塔）</p> <p>6.6 ●三笠宮寛仁親王殿下、多臓器不全で薨去（66歳）</p> <p>7.2 ●消費税増税法案に反対の民主党小沢一郎元代表ら衆参国会議員計50名が離党届けを提出</p> <p>7.5 ●万物の質量の起源とされるヒッグス粒子発見。発見支えた日本企業の先端技術力光る</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>7.1●ソフトボール活性化プロジェクト骨子案及び策定委員を決定</p> <p>8.6～11●台湾U16女子代表チーム招聘・交流事業を京都市で実施</p> <p>8.22●日本協会主催大会ではAEDの設置を義務化</p> <p>10.6～8●東日本大震災復興支援・第67回ぎふ清流国体3市1町で開催</p> <p>10.17●第13回世界女子選手権大会優勝記念祝賀会開催／東京</p> <p>10.22～28●ISF国際審判員アジア地区認定会実施（スタントンISF審判委員長、チェンSCA審判委員長来日）／岡山県新見市</p> <p>11.10～15●2012日韓ジュニアスポーツ交流事業・韓国女子ジュニア代表招聘／伊豆市</p> <p>11.15～18●平成24年度全国女子ジュニア育成中央研修会／伊豆市</p> <p>12.22～23●第2回学校体育学校体育ソフトボール全国指導者研修会開催／岐阜県大垣市 2013年（平成25年）</p>	<p>9.1～6●2012日韓ジュニアスポーツ交流事業・厚木商業高校を派遣／韓国・仁川</p> <p>10.25～28●第9回アジア男子選手権大会（第13回世界男子選手権大会アジア地区予選会・岡山県新見市／6か国）日本代表優勝</p> <p>10.30●ISF臨時総会開催（米・ヒューストン）。ISFとIBAFが統合して世界野球ソフトボール連盟（WBSC）の設立について審議</p> <p>11.1～10●第9回世界男子ジュニア選手権大会（アルゼンチン・パラナ／13か国）日本代表準優勝</p> <p>12.●第21回アジア連盟総会開催（マレーシア・クアラルンプール）尾崎正則副会長、宇津木妙子常務理事出席</p>	<p>7.27～8.12●ロンドン五輪開催</p> <p>9.11●沖縄県尖閣諸島の土地を日本政府が購入</p> <p>10.8●ノーベル生理学・医学賞に京都大学教授の山中伸弥氏が受賞 第2次安倍内閣、自民党と公明党による連立政権形成</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>2013年(平成25年)</p> <p>2.9～11●24年度全国審判員・記録員中央研修会開催/愛知県刈谷市</p> <p>2.10～11●24年度全国指導者中央研修会開催/東京</p> <p>4.1●新公益法人移行に関する諸規程を施行</p> <p>4.10●日本女子ソフトボールリーグ機構主催の「メディア懇談会」を開催/岸体育会館</p> <p>7.4～7●ぎふ清流国体開催記念・第2回東アジアカップ(岐阜県揖斐川町/5か国)日本女子代表優勝</p> <p>8.4～6●25年度台湾女子中学生交流事業実施/埼玉県鶴ヶ島市・毛呂山町</p> <p>9.29～10.1●第68回国体「スポーツ祭東京2013」3市1町で開催。</p> <p>11.3●本会顧問の長勢甚遠氏が旭日大綬章を受章</p>	<p>1.21～26●N T S 優秀選手17名・南投女子ジュニア招待試合出場(台湾・南投)優勝</p> <p>4.14●国際ソフトボール連盟(ISF)と国際野球連盟(IBAF)の統合組織を「世界野球ソフトボール連盟(WBSC)」と称することを承認/東京</p> <p>7.1～7●第10回世界女子ジュニア選手権大会(カナダ・プランプトン/15か国)日本代表優勝</p> <p>9.8～13●2013日韓ジュニア交流事業(韓国・鎮川)創志学園高を派遣</p> <p>10.26●第26回ISF総会開催(コロンビア・カルタヘナ)</p> <p>10.26●ドン・ポーターISF会長、引退を表明(在任26年)後任は第1副会長のデイル・マックマン氏(カナダ)</p>	<p>1.16●アルジェリアで人質拘束事件 邦人10名を含む多数の犠牲者</p> <p>2.15●ロシアに隕石落下、広範囲に被害</p> <p>4.2●歌舞伎座5代目が新装して開場</p> <p>5.23●登山家・三浦雄一郎氏(80)世界史上最高齢でエベレスト登頂達成</p> <p>6.22●ユネスコ、「富士山」を世界文化遺産に登録</p> <p>9.7●2020年の五輪開催地が東京に決定</p> <p>10.16●台風26号による被害が各地で発生。伊豆大島では土石流で多くの人命と家屋を失う</p> <p>11.23●中国が沖縄尖閣諸島上空を含む空域に防空識別圏を設定</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>11.7～12●2013日韓ジュニア交流事業(受入)韓国女子ジュニアU19/伊豆市</p> <p>12.8●臨時評議員会で佐賀県ソフトボール協会の除名と新組織・佐賀県ソフトボール連盟の加盟を承認/東京</p> <p>12.21～22●第3回学校体育ソフトボール全国指導者伝達研修会開催(文科省後援)/岐阜県大垣市</p>	<p>11.25～29●第14回世界女子選手権大会アジア地区予選(台湾・高雄/6か国)日本代表準優勝</p> <p>12.2～6●第5回アジア男子ジュニア選手権大会兼世界ジュニア選手権大会アジア地区予選(タイ・チャイヤプーム/8チーム)U19日本代表優勝</p>	<p>12.4●ユネスコ、「和食」を無形文化遺産に登録</p>
<p>2014年(平成26年)</p> <p>2.11～12●初めての試みで「女子日本代表投手選考会」を実施。日本リーグ1部所属の23名が参加/伊豆市</p> <p>3.31●学校体育推進委員会作成の中学校体育授業(ベースボール型)の教材用動画をHP上で公開</p> <p>3.31●オフィシャルソフトボールケースブック改訂第5版発刊</p> <p>4.11～13●第3回東アジアカップ出場の大学女子日本代表選手選考会実施/伊豆市</p> <p>5.29●第2回理事会で夏季期間の理事会、委員会及び大会派遣にはクルビズ対応を周知徹底するよう要請</p>	<p>1.8●SCA理事会開催(マレーシア・クアラルンプール)宇津木妙子第1副会長出席</p> <p>1.19～24●平成25年度NTS優秀選手台湾遠征(台湾・南投)日本優勝</p> <p>5.3・4●ISF理事会開催(米・プラントシティ)宇津木妙子常務理事出席</p> <p>5.10●第1回世界野球ソフトボール連盟(WBSC)総会開催(チュニジア・ハマメット)徳田寛会長、笹田嘉雄専務理事出席。宇津木妙子氏がWBSC理事に選出</p>	<p>2.7～23●ソチ冬季五輪開催。フィギュアスケートで羽生結弦選手が金メダル</p> <p>3.8●マレーシアから中国に向かっていた旅客機が交信を断ち消息不明</p> <p>4.16●韓国で大型客船沈没事故</p> <p>4.23～25●オバマ米大統領、国賓として初来日</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>6. 15●第1回定時評議員会で平成26・27年度役員決定。女性4名を含む理事24名と監事2名を選任。会長に徳田寛氏、副会長に尾崎正則・宇津木妙子・笹田嘉雄の3氏、専務理事に高橋清生氏が就任／東京</p> <p>6. 23●女子日本代表「侍ジャパン」のロゴとダイヤモンドストライプを使用した新ユニフォームを発表／岸体体育会館</p> <p>8. 1～3●大垣国際女子大会(大垣カップ)(岐阜県大垣市／中国・豪・日)日本代表優勝</p> <p>8. 27●定例理事会で本会組織運営規程及び服務規程の語句を改訂</p> <p>10. 18～20●第69回長崎がんばらんば国体開催</p>	<p>6. 6～11●第3回東アジアカップ(中国・順徳／4か国)女子大学日本代表優勝</p> <p>7. 7～13●第9回USAカップ(米・アーバイン／7チーム)女子日本代表4位</p> <p>7. 11～20●第10回世界ジュニア男子選手権(カナダ・ホワイトホース／10か国)男子日本代表3位</p> <p>7. 15～21●2014カナダカップ(カナディアンオープン)(カナダ・サレー／8チーム)女子日本代表4連覇</p> <p>8. 15～25●第14回世界女子選手権大会(オランダ・ハーレム／16か国)女子日本代表2連覇達成</p> <p>8. 26～30●日韓ジュニアスポーツ交流事業実施(韓国・仁川)／創志学園高校を派遣</p>	<p>6. 21●ユネスコ、群馬県の旧富岡製糸場と絹産業遺産群を世界文化遺産に登録</p> <p>6～●西アフリカでエボラ出血熱が流行し、急拡大して深刻な事態に</p> <p>7. 22●ウクライナ東部でマレーシアの旅客機が撃墜される</p> <p>8. 20●広島市北部で豪雨による大規模な土砂災害が発生</p> <p>9. 27●御嶽山が噴火し、多数の犠牲者</p> <p>10. 7●ノーベル物理学賞に日本の赤崎勇、天野浩、中村修二の3氏が受賞</p> <p>10●「野球・ソフトボールを五輪に復活させる議員連盟」が自民党参議院議員の堀内恒夫氏を中心に発足</p>

(年月日) 国内	(年月日) 国際	社会一般
<p>11. 1～3●平成26・27年度女子U19日本代表選考会実施(17名)／伊豆市</p> <p>11. 7～11●日韓ジュニアスポーツ交流事業実施・韓国女子U19受入／岡山市</p> <p>11. 15～18●平成26年度全国女子ジュニア育成中央研修会開催(17名選出)／伊豆市</p> <p>11. 18●「ビックカメラ女子ソフトボール高崎」創部記者会見実施／高崎市</p> <p>11. 23●第8回理事会で従来の「コンプライアンス委員会」を廃し、新たに「倫理委員会」の設置を承認</p> <p>11. 23●オフィシャルガイドブックの制作廃止。記録等はデータ化してHP上に掲載。役員名簿集を支部に配布。</p> <p>11. 23●第14回世界女子選手権・第17回アジア競技大会のダブル優勝祝賀会を開催／東京・ホテルニューオータニ</p>	<p>12. 8・9●IOC臨時総会がモナコで開催。五輪の中長期改革案が審議され、種目数の上限の撤廃や開催都市が実施競技種目を追加提案できる項目などを盛り込んだ改革案を承認。</p>	<p>12. 3●小惑星探査機「はやぶさ」打上げ成功。2018年惑星到着、2020年帰還</p> <p>12. 24●安倍晋三氏、第97代首相に就任し第3次安倍内閣発足。自民党と公明党による連立政権を形成</p> <p>12. 20●JR東京駅開業100周年記念Suicaの販売に9000人が殺到、混雑で中止に</p>